

第 8 次埼玉県地域保健医療計画 圏域別取組（東部）R6 年度実績調書

埼玉県東部地域保健医療協議会事務局

1 地域の子育て支援の充実・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P 1

《主な取組》

- ・ 妊娠期から子育て期までの切れ目のない支援体制の構築
- ・ 小児救急医療体制の維持・充実
- ・ 小児医療に関する情報提供と適切な受診方法の普及啓発

2 生活習慣病を踏まえた健康づくり対策・・・・・・・・・・・・・・・・P 5

《主な取組》

- ・ 食生活、運動等に関する正しい知識の普及や情報提供
- ・ 特定健診や特定保健指導による生活習慣病の発症予防・重症化予防の推進
- ・ がん検診受診率向上によるがんの早期発見・早期治療の推進
- ・ 糖尿病の発症及び重症化予防対策の推進
- ・ 高齢者の健康づくりの推進

3 心の健康対策・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P 1 5

《主な取組》

- ・ 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築
- ・ 精神保健に課題を抱える者への相談支援体制の整備
- ・ 退院後の地域支援体制の充実強化

4 健康危機管理体制の整備充実・・・・・・・・・・・・・・・・P 1 8

《主な取組》

- ・ 感染症対策の強化
- ・ 災害時医療の提供体制確保に向けた取組と健康危機管理体制の充実強化
- ・ 食の安全・安心確保

5 在宅医療の推進・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P 2 4

《主な取組》

- ・ 在宅医療・介護の連携の推進
- ・ 在宅医療連携拠点の充実
- ・ 在宅医療・介護関係者の情報共有、相談体制の支援
- ・ 関係機関の連携の推進

第8次計画埼玉県地域保健医療計画 東部保健医療圏 圏域別取組 R6年度実績(1)

圏域別取組	地域の子育て支援の充実
目標	妊娠期から子育て期まで切れ目のない支援体制の構築を進めます。 小児患者及び家族が安心して良質な医療を受け、自分らしく暮らしていけるよう、小児救急医療を含めて常時小児の診療ができる体制を構築します。 子供の急な病気やけがに対する保護者の不安に対応し、救急医療機関の負担を軽減するため、小児救急電話相談やA I救急相談の周知、子供の急病等の対応等について啓発を実施し、医療機関の適正受診を推進します。
主な取組	<ul style="list-style-type: none"> ■妊娠期から子育て期まで切れ目のない支援体制の構築 ■小児救急医療体制の維持・充実 ■小児医療に関する情報提供と適切な受診方法の普及啓発
実施主体	市町、保健所、医師会、歯科医師会、薬剤師会、消防本部、医療機関

主な取組	実施主体	R6
① 妊娠期から子育て期まで切れ目のない支援体制の構築	越谷市医師会	産科施設および小児科専門医療機関による1か月児の施設健診が開始となった。
	吉川松伏医師会	<ul style="list-style-type: none"> ・医師会は、市、町と連携して、集団乳幼児健診をおこなった。 ・乳幼児健診の吉川市は、4ヶ月児健診24回、1歳8か月児健診24回、3歳、4ヶ月児健診24回、発育発達相談12回、医師を派遣した。また、松伏町は、4ヶ月健診11回、9ヶ月健診12回、1歳8ヶ月健診12回、3歳4ヶ月健診12回、発育発達相談12回実施した。
	東埼玉歯科医師会	<ul style="list-style-type: none"> ・妊産婦への歯科講話、歯科健診 ・にこにこ歯みがき教室での講話 ・フッ化物歯面塗布
	埼玉県看護協会	産科外来のみ外来と病棟の一元化を行い、妊娠期から切れ目ない支援の体制を整えている。地域のクリニックや保健所との連携体制も整えている。
	春日部市	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども家庭センター(ぼっぼセンター)に、助産師、保健師の専門職員を配置し、妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない支援を行った。 ・出産・子育て応援事業の開始に伴い、伴走型相談支援の体制を整え、妊娠届出から出産、子育てまでの支援をさらに充実させた。利用実数：8387人
	草加市	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども家庭課(にんしん出産相談室ほほか)では、母子健康手帳の交付時に面談を実施し、妊娠・出産・子育てに関する相談に応じ、必要な情報提供や助言・保健指導を行った。また、必要に応じ、母子保健事業の参加につなげ、関係部署や関係機関との連絡調整を行い、切れ目ない支援を行った。 <令和6年度母子健康手帳の交付および面談件数 1,644件> <令和6年度相談(来所・電話・訪問)件数 4,809件>
	越谷市	<p>伴走型相談支援及び出産子育て応援金の一体的事業として、妊娠届出の面談時に妊婦本人と面談し、情報提供等を行うとともに、出産応援金の案内も行った。妊娠6~7か月頃には、全妊婦対象にアンケートを送付し、その回答から妊婦のニーズを把握し、面談等により支援を行った。出産後の面談については、新生児訪問として実施しており、訪問時に子育て応援金を案内するとともに、ニーズに即した必要な支援を実施した。</p> <p>令和6年度 妊娠届出時面談数 2,163件 妊娠8か月フォロー件数 301件 出産後フォロー件数 2,003件</p>
	八潮市	<p>にじいろ子育て相談室(利用者支援事業子ども家庭センター型(母子保健機能))において、専任の保健師または助産師を常時1人配置し、妊娠期から子育て期までの切れ目ない相談支援を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・母子健康手帳交付時面談人数 851件 ・来所相談 568件 ・電話相談 862件
	三郷市	<ul style="list-style-type: none"> ・保健師、助産師が随時、母子の健康に関する相談及び指導を行った。 延実施者数：訪問指導2,464人、来所相談1,839人、電話相談942人。 ・子ども家庭センターで妊娠届出時等に妊婦との面談を実施し、支援が必要なかたには支援プランを作成し、妊娠・出産・子育てに関する相談支援を実施した。 ・子育て情報を掲載した「にこにこ子育て応援ガイド」を作成し妊娠届出時等に配布した。 ・利用者支援事業(基本型・特定制・母子保健型)を実施し、子育て支援施設や保育所等の利用に関する相談や情報提供を実施した。
	吉川市	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て世代包括支援センターに助産師を専門職員として常時1人配置。母子手帳交付時の面接等によりアセスメントを行い、必要に応じてサービスや他機関を案内。 妊娠の届出数：433人
松伏町	<p>子ども家庭センターにて、伴走型相談支援を実施した。必要時支援プランを作成し、支援を要するケースについては関係機関を交えてケースカンファレンスを実施しており、切れ目のない支援体制が構築できている。また、出産・子育て応援給付金の給付を実施し、経済的支援を行った。</p> <p>妊娠届出数：142人 個別支援プラン立案数：妊婦31件、産婦7件 出産応援給付金：120件 子育て応援給付金：94件</p>	

第8次計画埼玉県地域保健医療計画 東部保健医療圏 圏域別取組 R6年度実績(1)

圏域別取組	地域の子育て支援の充実
目標	妊娠から子育て期まで切れ目のない支援体制の構築を進めます。 小児患者及び家族が安心して良質な医療を受け、自分らしく暮らしていけるよう、小児救急医療を含めて常時小児の診療ができる体制を構築します。 子供の急な病気やけがに対する保護者の不安に対応し、救急医療機関の負担を軽減するため、小児救急電話相談やA I 救急相談の周知、子供の急病等の対応等について啓発を実施し、医療機関の適正受診を推進します。
主な取組	■妊娠から子育て期まで切れ目のない支援体制の構築 ■小児救急医療体制の維持・充実 ■小児医療に関する情報提供と適切な受診方法の普及啓発
実施主体	市町、保健所、医師会、歯科医師会、薬剤師会、消防本部、医療機関

主な取組	実施主体	R6
①小児救急医療体制の維持・充実	草加保健所	<ul style="list-style-type: none"> ○妊娠からの虐待予防強化事業研修会の開催(参加者27人、春日部保健所と共催) ○小児慢性特定疾病医療給付制度申請時の療養状況確認(面接等の実施) <ul style="list-style-type: none"> ・令和6年度承認件数428件、療養のおたすね408件送付329件回収 ○管内4市の要保護児童対策地域協議会に出席(35回) ○関係機関の支援者及び療養患者に向けた事業の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・長期療養児教室(参加者19人) ・保健所別母子保健連携調整会議2回(延べ参加者47人、2回目は春日部保健所と共催) <ul style="list-style-type: none"> ・子どもの心の問題に関する研修会(参加者11人) ・小児精神保健医療推進連絡会議(参加者7人) ・子どもの心の健康相談:医師及び心理士による相談9回(延人数26人) ・ふれあい親子支援事業個別ケース検討4回(延べ参加者55人)
	春日部保健所	<ul style="list-style-type: none"> ○妊娠からの虐待予防強化事業研修会の開催 <ul style="list-style-type: none"> 3回実施(1回は草加保健所と共催)、延参加者70人 ○小児慢性特定疾病医療給付制度申請時の療養状況確認(面接等の実施) <ul style="list-style-type: none"> ・令和6年度承認件数217件、面接等の実施 延263件 ○管内2市町の要保護児童対策地域協議会に出席(25回) ○関係機関の支援者及び療養患者に向けた事業の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・長期療養児教室(参加者14人) ・保健所別母子保健連携調整会議3回(延べ参加者53人、1回は草加保健所と共催) ・子ども心の健康相談:医師及び臨床心理士による相談11回(延人数30人) ・子どもの心の問題に関する研修会・連絡会議(1回、参加者34人)
②小児救急医療体制の維持・充実	春日部市医師会	<ul style="list-style-type: none"> ・毎週月曜日から金曜日の午後7時から午後10時まで、春日部市小児救急夜間診療所で小児救急患者の診療を実施した。 ・休日(日曜日、祝日・休日、年末年始)の小児救急患者に診療するため、年間で小児科系の休日当番医を決め対応した。
	越谷市医師会	越谷市が公設公営設置している夜間急患診療所において、小児科専門医をはじめ医療スタッフを派遣し、初期救急に対応している。越谷市立病院や獨協埼玉医療センター小児科との後方連携による二次救急にも対応している。
	吉川松伏医師会	<ul style="list-style-type: none"> ・小児時間外診療事業として、14医療機関に於いて、平日午後7時から9時まで当番制で実施した。(吉川10医療機関、松伏4医療機関) ・令和6年度は、240日実施した。また、受診者数147件、電話相談82件であった。また、二次救急へ20件案内した。
	草加八潮医師会	<ul style="list-style-type: none"> ○草加市から委託を受け、草加市子ども急病夜間クリニックを運営している。クリニックでは、初期救急患者(第一次救急患者)の対応をしている。また、草加市立病院と連携をして、一部、救急車の受け入れも対応している。 ○草加市子ども急病夜間クリニックは、毎日準夜帯に開院している。 ○八潮市立休日診療所については、医師等の派遣を行っている。
	三郷市医師会	日曜・祝日の休日診療所の運営、平日夜間の輪番制による小児時間外(初期救急)診療及び土曜日夜間の休日診療所を利用した同診療体制の実施。
	春日部市薬剤師会	春日部市小児救急夜間診療所内薬局に薬剤師派遣し院内調剤と医薬品等の管理をする。日曜日・祝日の休日当番薬局を輪番制で開局し、休日当番医の院外処方せんに対応している。
	埼玉県看護協会	夜間の救急外来の輪番制を整え、24時間救急診療ができる体制をとっている。
	春日部市	<ul style="list-style-type: none"> ・在宅当番医制による祝休日の初期救急・・・1日につき3か所(内・外・小児)実施。72日開所、受診者数4,137人(小児のみ)。 ・平日夜間の小児初期救急・・・春日部市小児救急夜間診療所の開所(年末年始を除く)。243日開所、受診者数546人。 ・東部南地区(6市1町)による小児二次救急・・・4医療機関により夜間365日+祝休日夜間72日実施。救急搬送人員数3,842人。(市内では春日部市立医療センターが輪番制病院として参加。) ・令和6年度も毎週月曜日から金曜日の午後7時から午後10時まで、「春日部市小児救急夜間診療所」にて小児救急患者を診療した。 ・休日(日曜日、祝日、ゴールデンウィーク、年末年始)の小児救急患者の対応のため、1年間の小児科系の休日当番医を決め、診療に当たった。
	草加市	夜間及び休日の子どもの応急的な初期診療を行うため、「草加市子ども急病夜間クリニック」を運営し、365日の診療を対応した。(令和6年度利用者数3,315名)

第8次計画埼玉県地域保健医療計画 東部保健医療圏 圏域別取組 R6年度実績(1)

圏域別取組	地域の子育て支援の充実
目標	妊娠期から子育て期まで切れ目のない支援体制の構築を進めます。 小児患者及び家族が安心して良質な医療を受け、自分らしく暮らしていけるよう、小児救急医療を含めて常時小児の診療ができる体制を構築します。 子供の急な病気やけがに対する保護者の不安に対応し、救急医療機関の負担を軽減するため、小児救急電話相談やA I 救急相談の周知、子供の急病等の対応等について啓発を実施し、医療機関の適正受診を推進します。
主な取組	■妊娠期から子育て期まで切れ目のない支援体制の構築 ■小児救急医療体制の維持・充実 ■小児医療に関する情報提供と適切な受診方法の普及啓発
実施主体	市町、保健所、医師会、歯科医師会、薬剤師会、消防本部、医療機関

主な取組	実施主体	R6
	越谷市	休日当番医制事業(休日、年末年始)を実施した。 ・越谷市夜間急患診療所において、小児科の診療を毎日実施した。 令和6年度 受診者数 1,320人 ・埼玉県東部南地区の構成市町と連携し、小児救急医療支援事業を実施した。また、越谷市立病院が輪番制病院として参加している。
	八潮市	日曜、祝日、振替休日及び年末年始に初期救急診療(休日診療所)を実施した。 1歳未満 30人 1歳~就学前 203人 小学1年~15歳 168人
	三郷市	・小児時間外(初期救急)診療事業を当番医療機関で実施した。285人(月~土曜日の19時~21時まで実施) ・休日、日曜夜間診療を医師会立休日診療所で実施した。725人(令和7年1月分まで) (日曜・祝日・休日及び年末年始の昼間は10時~12時と14時~16時、日曜の夜間は18時~21時) ・埼玉県東部南地区の構成市町(6市1町)と連携し、第二次救急小児救急医療支援事業を実施した。
	吉川市	・小児時間外(初期救急)診療を松伏町と連携し、吉川松伏医師会の協力のもと実施。14医療機関(吉川市10医療機関、松伏町4医療機関)、平日午後7時から午後9時30分まで当番制で実施した。 診療日数:237日 受診者数:229人(うち電話相談:82件) 二次救急への紹介:20人 ※埼玉県東部南地区第二次救急医療対策協議会において小児救急医療支援事業を実施
	松伏町	・小児時間外(初期救急)診療を吉川市と連携し、吉川・松伏医師会の協力を得て実施した。 ・埼玉県東部南地区の構成市町(6市1町)と連携し、小児救急医療支援事業(2次救急)を実施した。
	春日部保健所	埼玉県東部南地区第二次救急医療対策協議会に参加し、状況の確認、意見交換を行った。
③小児医療に関する情報提供と適切な受診方法の普及啓発	越谷市医師会	当会ホームページ上にある「医療機関検索」を、より分かり易く、より使い易くなるようバージョンアップし公開している。また、夜間急患診療所を利用した患者保護者に対して、「かかりつけ医」の重要性と子どもの健康について丁寧に説明し対応している。
	吉川松伏医師会	・市、町と連携し、小児時間外診療事業の実施医療機関等のリーフレットを作成し、住民配布をした。 ・医師会ホームページにおいて、小児時間外診療事業の実施医療機関の情報を公開した。 ・夏季・年末年始の医療機関の診療状況についてもホームページにおいて公開した。
	草加八潮医師会	当会のホームページで案内をしている。
	三郷市医師会	市及び医師会ホームページでの小児救急医療に関する案内。
	東埼玉歯科医師会	・ホームページでの案内
	春日部市薬剤師会	休日当番薬局を春日部市薬剤師会ホームページに掲載している。
	埼玉県保険者協議会	乳幼児のいる世帯(約10,000世帯)に対して乳幼児世帯向け上手な医療のかかり方に関する専門冊子を配布した。
	春日部市	・令和6年度コミュニケーション・健康情報カレンダーに診療科目等を明記した市内医療機関の一覧表を掲載した。 ・市広報、公式ホームページ等により、在宅当番医制による祝休日の初期救急や春日部市小児救急夜間診療所による平日夜間の小児初期救急、「埼玉県救急電話相談」等について周知した。
	草加市	広報誌やホームページを通じて、急な病気やケガへの対処法として、埼玉県救急電話相談についての情報提供を行った。
	越谷市	・広報紙やホームページ等を活用し、埼玉県救急電話相談(#7120)や夜間急患診療所の情報提供を実施した。
	八潮市	市の広報誌やホームページ等に埼玉県小児救急電話相談(#7119)や休日・夜間診療所の案内等を掲載し、情報提供を行うとともに適切な受診方法の普及啓発に努めた。

第8次計画埼玉県地域保健医療計画 東部保健医療圏 圏域別取組 R6年度実績(1)

圏域別取組	地域の子育て支援の充実
目標	妊娠期から子育て期まで切れ目のない支援体制の構築を進めます。 小児患者及び家族が安心して良質な医療を受け、自分らしく暮らしていけるよう、小児救急医療を含めて常時小児の診療ができる体制を構築します。 子供の急な病気やけがに対する保護者の不安に対応し、救急医療機関の負担を軽減するため、小児救急電話相談やA I 救急相談の周知、子供の急病等の対応等について啓発を実施し、医療機関の適正受診を推進します。
主な取組	<ul style="list-style-type: none"> ■妊娠期から子育て期まで切れ目のない支援体制の構築 ■小児救急医療体制の維持・充実 ■小児医療に関する情報提供と適切な受診方法の普及啓発
実施主体	市町、保健所、医師会、歯科医師会、薬剤師会、消防本部、医療機関

主な取組	実施主体	R6
	三郷市	・埼玉県救急電話相談（#7119）や埼玉県小児救急電話相談（#8000）と、小児時間外（初期救急）診療体制について、当市発行「健康のしおり」（全戸配布）やホームページに掲載し、情報提供を行うとともに、適切な受診方法の普及啓発に努めた。
	吉川市	・小児時間外（初期救急）診療体制についてのお知らせを作成し、9月と3月に全戸配布するとともに、広報紙に掲載し周知を図った。 ・案内配布やポスター掲示、広報やHPへの掲載により埼玉県救急電話相談（#7119）について周知を図った。
	松伏町	・小児時間外（初期救急）診療当番表を作成し、3月及び9月に全世帯に配布するとともに、毎月の広報誌やホームページ等に当番表を掲載した。 ・埼玉県救急電話相談（#7119）や小児救急電話相談（#8000）を健診時の情報提供広報誌やホームページ等に掲載、町民まつりなどイベント等で適切な受診方法の啓発に努めた。
	春日部保健所	急な病気やけがに対する県民の不安解消と軽症患者の集中による救急医療機関の負担軽減のため、埼玉県救急電話相談（#7119）に係るPRカードの配布。

第8次計画埼玉県地域保健医療計画 東部保健医療圏 圏域別取組 R6年度実績(2)

圏域別取組	生活習慣病を踏まえた健康づくり対策
目標	県や市町の健康づくり計画を、行政・関係団体・住民が共に推進します。 生活習慣の改善につながる取組を通じて、生活習慣病の発症予防や重症化予防を推進し、また社会生活を営むために必要な機能の維持・向上により、健康寿命の延伸を目指します。
主な取組	<ul style="list-style-type: none"> ■食生活、運動等に関する正しい知識の普及や情報提供 ■特定健診や特定保健指導による生活習慣病の発症予防・重症化予防の推進 ■がん検診受診率向上によるがんの早期発見・早期治療の推進 ■糖尿病の発症及び重症化予防対策の推進 ■高齢者の健康づくりの推進
実施主体	医療保険者、市町、保健所、医師会、薬剤師会、関係団体

主な取組	実施主体	R6
① 食生活、運動等に関する正しい知識の普及や情報提供	<p>吉川松伏医師会</p> <p>埼玉県保険者協議会</p> <p>草加市食生活改善推進員協議会</p> <p>春日部市</p> <p>草加市</p> <p>越谷市</p> <p>八潮市</p> <p>三郷市</p> <p>吉川市</p>	<p>市と町と連携し、行政など主催の健康体操の促進のために、医療機関窓口にポスター掲示やリーフレットを配布し、住民への情報提供、周知した。</p> <p>協会けんぽホームページやLINE等で「季節の健康情報」など、その時々に応じた健康に関する情報を加入者向けに提供している。</p> <p>食生活改善によるヘルシー料理実施 親子3回(8月2回、2月)52人、健康増進3回(11月2回、2月)43人 介護予防2回(6、10月)28人、男性料理3会場延べ270人 運動事業 ウォーキング 1回(70人)</p> <p>・生活習慣病予防教室…健康講話と運動 年6回 栄養講話と調理実習 年3回 歯科講話1回 対象20歳から64歳 参加者：134人 ・骨密度測定会…骨密度測定と個別結果説明、個別栄養相談(希望者)対象20歳以上 年11回 参加者数：680人 ・健康長寿サポーター養成講習…年2回 参加者数：21人 ・ストレッチとウォーキング教室…年2回 参加者数：51人 ・ALKOマイレージ体力測定会…対象18歳以上(64歳以下、79歳以下の部あり)1クール4回 参加者数：のべ63人</p> <p>・春日部市介護予防手帳「そらまめ手帳」を作成し、介護予防のママ知識として栄養や運動に関する知識の普及を図った。(配布部数4,677部) ・健康脳トレ塾を開催し、専門職による運動や栄養に関する講義を行った。(延べ参加者数1,029人) ・介護予防講演会を開催し、医師、歯科医師、薬剤師、管理栄養士、理学療法士による講義を行った。(延べ参加者数234人) ・理学療法士監修による首や肩、腰などの痛みの予防や転倒予防、認知症予防等のための体操について掲載した「春日部楽楽介護予防テキスト」を配布するとともに、体操の説明動画を市公式YouTubeへ掲載した。</p> <p>・保健情報を掲載した保健センターだよりを年4回発行し市内公共施設、医療機関、薬局等に配布 ・糖尿病講演会を開催し、病気の理解、食生活、運動について講話 71人 ・移動健康教室 ・ヘルシー料理教室(健康増進分)45人、(介護予防分)28人 ・ヘルスマイト養成講座8回コース延べ152人 ・特定健診後の生活習慣改善のためのヘルスアップ教室43人 ・骨密度測定(健康増進分)209人、(介護予防分)451人 ・食生活改善推進員定例会において栄養講話延べ449人 ・一体的実施事業ハイリスクアプローチ186人、ポピュレーションアプローチ101人 ・食育レシピ作成・配布 5000部 ・ヘルシーレシピの料理検索掲載サイトの掲載(毎月)</p> <p>・食育の推進を図るために調理実習を行った。 男の料理教室3回、49人参加。ヘルシークッキング6回、106人参加。 ・市民健康教室8回、延べ165人参加。 ・メタボリックシンドローム予防のための減量をサポートする講座を実施した。 チーム-3キロ講義14回、延べ179人参加。 ・運動セミナー1回、22人参加。 ・運動習慣を身につける目的教室を実施した。 健康体操教室55回、1827人参加。 ・食生活改善推進員による料理教室16回、171人参加。</p> <p>・年間10回の健康相談会、20-39歳向け健診の結果説明会、随時の健康・栄養相談において個人に合わせた保健指導を実施した。 ・健康講座(運動、栄養、疾病予防)等を実施し、食生活、運動などに関する知識の普及や情報提供を行った。(健康長寿サポーター養成講習含む) ・地域住民の健康づくりを推進する「食生活改善推進会」の定例会にて食生活の改善に関する研修を計画的に行った。 ・健康づくりの一環としてウォーキング講習会を実施した。3日間で延70人が参加した。 ・広報、ホームページ、チラシ等による健康づくりに関する広報活動を実施した。 ・健康長寿サポーターあての通知(「こまちゃん健康通信」)に健康情報を掲載し情報提供を行った。</p> <p>・「すこやかみさと健康体操」の普及・実施 三郷市民の歌に合わせて、歌いながら楽しく身体を動かせる体操を普及及び推進した。 また、市民向けの普及講習会3回を2クール実施した。 ・たばこの害を周知 ①成人の集団健康診査会場にて、啓発品の展示やリーフレットの設置を行った。 ②母子健康手帳発行時に、受動喫煙やCOPDに関するリーフレットを配付した。</p> <p>・成人を対象に行った集団健康教育において、食生活や運動に関する正しい知識の普及や啓発や情報提供を行った。延参加者数：496人 ・食生活や栄養でお困りのかたに、地域の各所で管理栄養士による栄養相談を行った。延実施者数：80人 ・三郷市体力向上推進委員会(市内小中学校から各1名参加)を開催し、児童生徒の体力向上や健康教育に関する研修を実施した。 ・集団健診会場にて朝ごはんの試食提供と健康情報の提供を実施した。計6回 提供者数：366名 ・年長児とその保護者を対象に「朝食レシピ周知料理教室」を実施した。計2回 対象者数：18人 ・小学校5年生とその保護者を対象に「家庭料理技能検定(5級・団体受検)」を実施した。また、合格者が30名以上の平均点最上位団体として、全国の自治体として初めて文部科学大臣賞を受賞した。受検者数：38名</p> <p>・令和2年度に作成した健康メニューの作り方動画を広報等で周知。 ・前講座にて吉川版食事バランスガイドを活用し、バランス食について普及・啓発。</p>

第8次計画埼玉県地域保健医療計画 東部保健医療圏 圏域別取組 R6年度実績(2)

圏域別取組	生活習慣病を踏まえた健康づくり対策
目標	県や市町の健康づくり計画を、行政・関係団体・住民が共に推進します。 生活習慣の改善につながる取組を通じて、生活習慣病の発症予防や重症化予防を推進し、また社会生活を営むために必要な機能の維持・向上により、健康寿命の延伸を目指します。
主な取組	<ul style="list-style-type: none"> ■食生活、運動等に関する正しい知識の普及や情報提供 ■特定健診や特定保健指導による生活習慣病の発症予防・重症化予防の推進 ■がん検診受診率向上によるがんの早期発見・早期治療の推進 ■糖尿病の発症及び重症化予防対策の推進 ■高齢者の健康づくりの推進
実施主体	医療保険者、市町、保健所、医師会、薬剤師会、関係団体

主な取組	実施主体	R6
	松伏町	<ul style="list-style-type: none"> ・「マップー栄養DAY(栄養の日イベント)」の開催：155名参加 ・毎月栄養相談を開催し希望者に対し管理栄養士による個別相談を実施した。延べ数：12名 ・食生活改善推進員協議会と連携し、正しい食の普及や食育の推進を目的に、料理教室を4回開催した。(一般参加者数■男の料理教室：7名、親子の料理教室：7名、生涯骨太クッキング13名、ヘルスサポーター養成講座：5名) ・生活習慣病予防教室の実施(動脈硬化予防教室食事編：21名、運動編：17名) ・「気軽にノルディックウォーキング」を実施：開催12回、延べ351名参加
	草加保健所	<ul style="list-style-type: none"> ・栄養指導(延95人)、給食施設指導(287施設)を実施した。 ・健康づくりに関するリーフレット等を来訪者に配布した。 ・管内大学の学生寮に入居している学生を対象とした食育推進事業を実施した。(年1回) ・管内児童福祉施設を対象とした研修会を実施した。(年1回) ・働く世代の健康づくり支援研修会として、メンタルヘルスをテーマに動画配信を実施した。
	春日部保健所	<p>給食施設、栄養関係団体等の育成・指導を通じて、食生活改善や健康づくりの啓発普及と支援を実施。オンラインも活用し研修会等を実施した。東部ブロック保健所で事業共有し、広域的・効率的に事業を展開。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「健康長寿サポーター養成講習」(年2回、延59名) ・「給食施設研修会」(年2回、延280名) ・「食生活改善推進員リーダー研修会」(年1回、延24名) ・「食育・健康づくり事業担当者会議」(年2回、延10名) ・「地域活動栄養士定例会」(年4回、延8名) ・「歯科口腔保健連携会議」(年1回、50名) ・「他保健所主催事業共有」(年3回、21名) <p>受動喫煙防止対策啓発グッズ及び健康情報冊子等の配布</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新規・更新指定事業所(延330施設) ・春日部商工まつり(延1451部) ・春日部市健康フェア(延1371部)
② 特定健診や特定保健指導による生活習慣病の発症予防・重症化予防の推進	春日部市医師会	会員医療機関104医療機関のうち約7割の医療機関で特定健診・特定保健指導を実施した。実施医療機関においては、基本的に特定健診と特定保健指導をワンセットで実施していただくことで、自院での健診結果に基づいた的確な保健指導を行っている。
	越谷市医師会	当会では、医療機関で行う施設健診と公共施設を利用した集団健診を実施している。また、特定健診実施後の結果通知発送の際に、越谷市が作成した保健指導に係る資料を同封し、市民の健康に対する意識啓発に努めている。令和6年度実績は、施設健診・集団健診合計37,471人。また、CKD対策として本会・健診委員会CKD部会からの延伸で「越谷CKD協議会」を発足させた。オブザーバーに獨協埼玉医療センター腎臓内科・竹田教授を招き、越谷市保健センター、薬剤師会、栄養士会からの賛同も得て活動を開始し、「10/20(日)市民講座」や「3/16(日)世界腎臓デーin越谷」を越谷サンシティにて開催。健診委員会CKD部会も活動を継続し、越谷市健康づくり推進課保健師との間で保健指導スキルアップのための講習を定期開催している。
	吉川松伏医師会	<ul style="list-style-type: none"> ・医師会は、市、町から事業を受託し、集団健診と医療機関で行う個別健診を実施した。 ・吉川市集団 15日間実施 2,218件、吉川市個別 15医療機関で実施 4,565件 ・松伏町集団 180日間実施 1,608件、松伏町個別 9医療機関で実施 707件
	草加八潮医師会	会員医療機関 80か所 で特定健診を実施した。そのうち、当医師会で把握している 70か所では、約34,000件を実施した。
	三郷市医師会	集団・個別特定健診及び特定保健指導の実施。
	埼玉県保険者協議会	健診受診率が低調な事業所に対して労働局と連名で受診勧奨(約16,000件)を実施。また、生活習慣病予防健診の未受診者がいる事業所に対して、検診車を使用して実施する集団健診の案内(約20,000件)を実施した。
	三郷市母子愛育会	特定健診の周知活動(三郷市作成ポスターの貼付、チラシの配布)市掲示板にポスターを貼る(5回/年)地域の方にチラシを配る
	春日部市	<ul style="list-style-type: none"> ・糖尿病性腎症重症化予防事業(受診勧奨、保健指導、継続支援)を埼玉県国民健康保険団体連合会との共同事業として実施。 ・受診勧奨：未受診者や受診中断者に対し、受診勧奨の通知を送付。未受診者197人、受診中断者23人。 ・保健指導：糖尿病性腎症2期～4期の者に専門職(保健師・管理栄養士等)による保健指導を実施。通知発送数694人、参加者数20人(参加率2.9%)、修了者数17人(修了率85.0%) ・継続支援：保健指導修了者に対し、継続支援の保健指導を実施。通知発送数67人、参加者数16人(参加率23.9%)、修了者数15人(修了率93.8%)

第8次計画埼玉県地域保健医療計画 東部保健医療圏 圏域別取組 R6年度実績(2)

圏域別取組	生活習慣病を踏まえた健康づくり対策
目標	県や市町の健康づくり計画を、行政・関係団体・住民が共に推進します。 生活習慣の改善につながる取組を通じて、生活習慣病の発症予防や重症化予防を推進し、また社会生活を営むために必要な機能の維持・向上により、健康寿命の延伸を目指します。
主な取組	<ul style="list-style-type: none"> ■食生活、運動等に関する正しい知識の普及や情報提供 ■特定健診や特定保健指導による生活習慣病の発症予防・重症化予防の推進 ■がん検診受診率向上によるがんの早期発見・早期治療の推進 ■糖尿病の発症及び重症化予防対策の推進 ■高齢者の健康づくりの推進
実施主体	医療保険者、市町、保健所、医師会、薬剤師会、関係団体

主な取組	実施主体	R6
	草加市	<ul style="list-style-type: none"> ・40～74歳の国民健康保険被保険者を対象に、特定健診の受診券を送付した。 ・特定健診受診動奨ハガキを2回発送し、受診動奨を図った。 ・特定健診の結果から生活習慣病のリスクが高い者に対して、特定保健指導を実施し、食事指導など生活習慣の改善を促した。
	越谷市	<p>《特定健診の実施》</p> <p>【実施期間】6月1日から11月10日</p> <p>【個別健診】市内89医療機関で実施</p> <p>【集団健診】9月上旬から10月下旬までの土曜日を含む30日間、市内公共施設で実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全対象者へ受診券、受診案内を送付(44,889件) ・特定健診項目に血清クレアチニン検査(eGFR)、貧血検査を受診者全員に追加、また、医師の判断により心電図、眼底検査(後期高齢者は除く)を実施。 ・特定健診結果通知に、健診項目の検査内容説明を情報提供。 <p>《受診促進》</p> <p>【広報活動】市ホームページ(期間中)、広報誌(6月号、8月号、10月号)、メール配信サービス(1回)、市公式LINEからの配信(1回)、特定健診受診券発布スターを実施医療機関89箇所・自治会・公共施設に配付、受診動奨チラシを公共施設・地域包括支援センターに配付、JA越谷市の広報誌(8月号)に受診促進記事掲載、自治会回覧板にて周知(市内全域)、健診受診券発布カード(名札貼付用)着用(9月から10月)</p> <p>【受診動奨キャンペーン】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・通知及び電話による受診動奨(通知送付数:19,368通、電話動奨:2,668人) ・次年度年度年齢40歳到達者に事前案内通知を発送(529人) ・特定健診受診券発布うちわ(3,000枚)を作製 ・特定健診受診券発布両用マグネットシートを公用車に貼付 <p>《特定保健指導の実施》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特定健診結果より特定保健指導対象者を抽出し保健指導を行い、保健指導未利用者に対しては、通知や電話による利用動奨を行った。 <p>《特定保健指導の実施》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・健康増進法に基づく健康診査を実施し、対象者に保健指導を行った。 ・受診者数330人(受診率10.5%)。保健指導実施者数6人(実施率15.6%)。
	八潮市	<ul style="list-style-type: none"> ・広報やおに特定健康診査の受診動奨、特定保健指導の利用動奨の記事を掲載した。 ・市ホームページに、特定健診の受診動奨に係るコンテンツを掲載した。 ・特定健診受診券発布スターを作成し、実施医療機関及び公共施設に掲示した。 ・市民まつりや確定申告会場で特定健診周知用ポケットティッシュを配布した。 <p>◇特定健診</p> <ul style="list-style-type: none"> ・受診者数 3,444名(令和7年5月28日時点) ①受診期間中の電話動奨の実施 ②未受診者へ受診動奨はがきの送付 <p>◇特定保健指導</p> <ul style="list-style-type: none"> ・終了者数 25名 ①保健指導未利用者へは再募集を実施 <p>◇人間ドック・脳ドック補助金助成事業(申請者数 135名)</p> <ul style="list-style-type: none"> ①満40歳以上の国保被保険者を対象に、人間ドック・脳ドックに要した費用の7割(上限25,000円)を助成する。
	三郷市	<ul style="list-style-type: none"> ・レディースデイを設け、女性が受けやすい体制を整備した。 ・30歳代健診会場にて、特定保健指導基準に該当が見込まれるものに対して、声かけを実施した。対象者46名(時間がとれるものについては、会場にて特定保健指導初回面談相当の支援、3か月後電話によるフォローを実施) ・特定保健指導未申込者に対して、特定保健指導利用動奨通知を送付した。 延べ発送数:1,150件 ・集団方式の実施回数を29回とした。
	吉川市	<ul style="list-style-type: none"> ・特定保健指導率の向上のため、アポなし訪問や休日、勤務時間外の面談の実施、健診当日の個別指導などの取り組みを実施。 ・特定保健指導評価の場として、健康測定会(体重、腹囲、運動講習)開催。
	松伏町	<ul style="list-style-type: none"> ・特定健診受診券送付時に歯科保健に関する資料を同封し、歯周病予防の啓発を実施した。 ・受診者の利便性を図るため、集団健診、個別健診を実施した。集団健診では、保健師・管理栄養士による生活習慣病予防についての講話を999名に実施した。 ・特定健診未受診者に対し、ハガキによる受診動奨を実施した。 ・特定保健指導対象者に保健師・管理栄養士による保健指導を個別面接で実施した。個別面接ができなかった方には、電話または、資料を送付して、生活習慣病の予防啓発を実施した。 ・特定保健指導では、休日開催も取り入れ、より参加しやすいよう工夫した。 令和6年度 特定保健指導実施件数38件
	草加保健所	<ul style="list-style-type: none"> ・管内各市へ特定健診啓発用のぼり旗の貸し出しを行った。 ・食品衛生営業許可申請の場を活用して生活習慣予防、受動喫煙対策等を含めた健康に関する情報提供を食品衛生管理者等に行った(327施設)。 ・管内各市健康づくり担当者を対象に、担当者会議を実施した。(年1回)

第8次計画埼玉県地域保健医療計画 東部保健医療圏 圏域別取組 R6年度実績(2)

圏域別取組	生活習慣病を踏まえた健康づくり対策
目標	県や市町の健康づくり計画を、行政・関係団体・住民が共に推進します。 生活習慣の改善につながる取組を通じて、生活習慣病の発症予防や重症化予防を推進し、また社会生活を営むために必要な機能の維持・向上により、健康寿命の延伸を目指します。
主な取組	<ul style="list-style-type: none"> ■食生活、運動等に関する正しい知識の普及や情報提供 ■特定健診や特定保健指導による生活習慣病の発症予防・重症化予防の推進 ■がん検診受診率向上によるがんの早期発見・早期治療の推進 ■糖尿病の発症及び重症化予防対策の推進 ■高齢者の健康づくりの推進
実施主体	医療保険者、市町、保健所、医師会、薬剤師会、関係団体

主な取組	実施主体	R6
	春日部保健所	地域保健と職場保健の連携を強化し、効果的な健康づくり体制を構築するための事業を実施。オンラインも活用した。 <ul style="list-style-type: none"> ・「地域・職場連携推進連絡会」(年1回、延25名) ・「働き盛り世代の健康づくりセミナー」(年1回、31名) ・「国保・後期高齢者ヘルスサポート事業拠点保健所別研修(国保医療課主催)」(年1回、30名) ・「他保健所主催事業共有」(年3回、22名) ・地域の保健事業等の把握と情報交換のため、「市町村健康づくり関連事業フォーマットを活用したヒアリング調査」を実施。
③がん検診受診率向上によるがんの早期発見・早期治療の推進	春日部市医師会	子宮がん、大腸がん、肺がんは個別検診、乳がんは集団検診、胃がんは集団検診(X線)と個別検診(内視鏡)で実施した。内視鏡による胃がん個別検診については、開始時期を3月に早めることで受診者の増大に対応している。また、肺がん検診については、特定健診の受診率向上が肺がん検診受診率向上につながることから、市民・医療機関に対して積極的な勧奨を行った。
	越谷市医師会	各種がん検診実施医療機関には実施内容ポスターを院内掲示してもらい、来院者への受診推進啓発活動を行ってもらっている。検診受診後の要精検者へ二次検査としての医療機関受診の勧めの協力依頼を徹底している。
	吉川松伏医師会	<ul style="list-style-type: none"> ・医師会は、市町から事業を受託し、集団健診と医療機関で行う個別健診を実施した。 ・吉川市集団 4, 726件、吉川市個別 15医療機関で実施 5, 846件 ・松伏町集団 4, 899件、松伏町個別 9医療機関で実施 553件
	草加八潮医師会	<ul style="list-style-type: none"> ○市が作成したポスターをがん検診を行っている医療機関に掲示し、受診率の向上を図っている。 ○草加市の肺がん健診では、約17,000人の検診をしている。
	三郷市医師会	集団・個別がん検診(胃・肺・大腸・乳・子宮)の実施。
	春日部市薬剤師会	ガン検診検診啓発ポスターの掲示
	埼玉県保険者協議会	市町村が実施するがん検診等と協会けんぽの特定健診を同時に受診することができる集団健診を15市町村と実施した。(受診者数:約2,200人)
	埼玉県看護協会	がん指定病院として、がん検診にて指摘された患者を優先に診察を行い、早期治療の推進をしている。
	春日部市	各がん検診について受診勧奨通知を送付 <ul style="list-style-type: none"> ・胃がん検診…50歳～60歳の偶数年齢の方(22,096人) ・乳がん検診…40歳～60歳の偶数年齢の方(16,617人) ・子宮がん検診…23、25、28、30、33、35、38、40、43、45歳の方(11,419人) ・肺がん検診…国民健康保険・後期高齢者医療制度加入者及び生活保護・支援給付受給者の特定健診・健康診査対象者(全員) ・大腸がん検診…国民健康保険・後期高齢者医療制度加入者及び生活保護・支援給付受給者の特定健診・健康診査対象者(全員) ・その他(全がん検診の受診案内)…40歳の方(2,475人)
	草加市	<ul style="list-style-type: none"> ・がん検診の申し込みを、保健センター窓口やハガキに加え、さらに電子申請での申し込みを取り入れ、受診しやすい環境整備を行った。 ・保健センターで行う集団がん検診を土日も開催。 ・45歳、50歳の人を対象に、がん検診受診勧奨通知を送った(7851名) ・様々な世代に向けたがん検診の周知のため、ぬりえ展を実施 市内保育園等にぬりえを配布 ・国保特定健診、後期高齢者健診の受診通知にがん検診の案内を同封。
越谷市	<ul style="list-style-type: none"> ・各種がん検診の周知と受診率の向上を図るため、広報・ホームページ・Cityメール・SNSの掲載や、個別勧奨・再勧奨ハガキを通知した。また、乳がん検診では、集団検診でのマンモグラフィ単独検診を導入し、かつ民間施設等の受診しやすい場所での実施を増やし環境を整えた。 ・胃がん検診 受診者数13,591人(受診率6.5%)。 ・子宮頸がん検診 受診者数10,720人(受診率7.4%)。 ・乳がん検診 受診者数6,604人(受診率10.4%)。 ・大腸がん検診 受診者数20,699人(受診率9.8%)。 ・肺がん・結核検診 受診者数29,060人(受診率13.8%)。 	
八潮市	①八潮市がん検診等の受診券・各種検診案内の送付 ②子宮頸・乳がん検診の無料クーポン券の送付 ③40歳到達者への各種受診券及び勧奨通知の送付 ④精検未受診者に対する精検受診勧奨通知の送付、受診勧奨電話及び精検結果の把握 ⑤広報やホームページ、メール配信による受診勧奨 ⑥ピンクリボン月に合わせ、庁舎や保健センターにおいて周知啓発活動を実施した	
三郷市	広報やホームページでがん検診の日程や受けかた等を掲載し、申込はがきを「健康のしおり」に折込み全戸配布し、公共施設や医療機関にも設置し受診を促した。	

第8次計画埼玉県地域保健医療計画 東部保健医療圏 圏域別取組 R6年度実績(2)

圏域別取組	生活習慣病を踏まえた健康づくり対策
目標	県や市町の健康づくり計画を、行政・関係団体・住民が共に推進します。 生活習慣の改善につながる取組を通じて、生活習慣病の発症予防や重症化予防を推進し、また社会生活を営むために必要な機能の維持・向上により、健康寿命の延伸を目指します。
主な取組	<ul style="list-style-type: none"> ■食生活、運動等に関する正しい知識の普及や情報提供 ■特定健診や特定保健指導による生活習慣病の発症予防・重症化予防の推進 ■がん検診受診率向上によるがんの早期発見・早期治療の推進 ■糖尿病の発症及び重症化予防対策の推進 ■高齢者の健康づくりの推進
実施主体	医療保険者、市町、保健所、医師会、薬剤師会、関係団体

主な取組	実施主体	R6
	吉川市	<ul style="list-style-type: none"> ・乳がん、子宮頸がん検診の無料クーポンを対象者に送付。広報・ポスター等によるがん検診の受診勧奨を実施。 ・協会けんぽの特定健診会場を提供し、子宮、乳がん検診を同日に実施。
	松伏町	<ul style="list-style-type: none"> ・特定健診受診券送付時に、がん検診の受診勧奨を実施した。また、集団健診時にがん検診も同時実施した。 ・働く世代が受診しやすいように休日もがん検診を実施した。 ・胃・大腸・子宮頸がん検診については個別検診も実施した。 ・大腸がん検診については、年度末年齢50歳の方に、8月にコールリコールを行った。 ・大腸・肺がん検診について、春の検診を申し込んだが受診していない方に対し、8月に再勧奨を行った。 ・無料クーポン券の書式を変更し、無料で受けられることをよりわかりやすくした。 ・秋の検診について、マップメール（松伏町メール配信サービス）を活用し周知した。 ・SNSを活用し、がん検診やがんに関する知識について周知した。
	草加保健所	<ul style="list-style-type: none"> ・健康長寿サポーター養成講習会を実施した。（年1回、21人） ・東部保健医療圏の健康課題把握のため、中小規模事業所の訪問を実施した。（管内2事業所、春日部保健所管内2事業所） ・働く世代の健康づくりや特定健診受診率向上のため、東部保健医療圏を対象にがん対策をテーマとした東部保健医療圏地域・職域連携推進連絡会を開催した。（年1回、32名参加）
④糖尿病の発症及び重症化予防対策の推進	春日部市医師会	重症化予防対策のため、春日部市、協会けんぽ埼玉支部への受診データの提供など、積極的に協力した。
	越谷市医師会	重症化予防事業を会員医療機関に周知し、積極的な事業参加を呼び掛けている。医師会員向けには本事業の重要性を考慮した学術講演を開催している。また、市が主催する市民向けセミナーに講師を派遣している。
	吉川松伏医師会	<ul style="list-style-type: none"> ・関係機関より、糖尿病の発症及び重症化予防対策の推進に関する推進に対する取り組みについて積極的に協力するよう関係医療機関へ依頼要請を実施した。 ・市民に対して、糖尿病の発症・重症化を防ぐために医療機関への受診勧奨・継続受診勧奨、適切な保健指導などを行い、重症化、人工透析を阻止していくことが重要であることから、行政と医師会が協力、連携し重症化予防の啓発など積極的に取り組んでいく対策を検討している。
	草加八潮医師会	重症化予防事業について、会員医療機関に周知を図り、草加市立病院と連携し事業を進めている。
	埼玉県保険者協議会	<ul style="list-style-type: none"> ・糖尿病を含め生活習慣病の重症化を予防するため、健診結果で血圧・血糖・脂質（LDLコレステロール）が基準値を超えた者のうち未治療者に対する受診勧奨を実施した。（0次勧奨：60健診機関から約7,200件、2次勧奨：協会けんぽから約26,000件） ・糖尿病性腎症に係る重症化予防事業として、埼玉県糖尿病性腎症重症化予防プログラムに則り、人工透析に移行させないための保健指導を20人に実施した。
	埼玉県看護協会	糖尿病透析予防の指導を外来で行ない、重症化予防対策をしている。
	春日部市	<ul style="list-style-type: none"> ・糖尿病性腎症重症化予防事業（受診勧奨、保健指導、継続支援）を埼玉県国民健康保険団体連合会との共同事業として実施。 ・受診勧奨：未受診者や受診中断者に対し、受診勧奨の通知を送付。未受診者197人、受診中断者23人。 ・保健指導：糖尿病性腎症2期～4期の者に専門職（保健師・管理栄養士等）による保健指導を実施。通知発送数694人、参加者数20人（参加率2.9%）、修了者数17人（修了率85.0%） ・継続支援：保健指導修了者に対し、継続支援の保健指導を実施。通知発送数67人、参加者数16人（参加率23.9%）、修了者数15人（修了率93.8%）
	草加市	<ul style="list-style-type: none"> ・糖尿病の重症化（主に腎症）を防ぐため、医療機関未受診者や治療中断者に対して、個別に受診勧奨通知書を送付し、非専門職による電話での受診勧奨を実施した。また、重症化リスクの高い者に対して、保健指導プログラムへの参加通知を送付し、本人の同意と、かかりつけ医の推薦があった者を対象とし、保健指導を実施した。 ・特定保健指導対象者ではないが、特定健診の結果から今後生活習慣病となるリスクが高い者に対して、過去5年間分の健診結果と、食事・運動に関する参考資料を送付した。また、栄養講話、生活習慣改善のための講義、運動教室等を実施した。
	越谷市	<ul style="list-style-type: none"> ・糖尿病予防の講演会を開催した。糖尿病予防セミナー1回、28人参加。 ・糖尿病の重症化予防の講演会を開催した。糖尿病との向き合い方セミナー1回、31人参加。 ・糖尿病予防を目的に、ウォーキング教室を行った。1回、9人参加。 ・糖尿病に関する栄養講座を行った。講話編4回、47人参加。調理編2回、41人参加。 ・埼玉県と国保連合会の共同事業「糖尿病性腎症重症化予防対策事業」に参加。 ・医療機関未受診者への受診勧奨（142人） 受診中断者への受診勧奨（32人） ・保健指導（R6 申込者数15人）

第8次計画埼玉県地域保健医療計画 東部保健医療圏 圏域別取組 R6年度実績(2)

圏域別取組	生活習慣病を踏まえた健康づくり対策
目標	県や市町の健康づくり計画を、行政・関係団体・住民が共に推進します。 生活習慣の改善につながる取組を通じて、生活習慣病の発症予防や重症化予防を推進し、また社会生活を営むために必要な機能の維持・向上により、健康寿命の延伸を目指します。
主な取組	<ul style="list-style-type: none"> ■食生活、運動等に関する正しい知識の普及や情報提供 ■特定健診や特定保健指導による生活習慣病の発症予防・重症化予防の推進 ■がん検診受診率向上によるがんの早期発見・早期治療の推進 ■糖尿病の発症及び重症化予防対策の推進 ■高齢者の健康づくりの推進
実施主体	医療保険者、市町、保健所、医師会、薬剤師会、関係団体

主な取組	実施主体	R6
⑤高齢者の健康づくりの推進	八潮市	<p>【国保部門】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・埼玉県・埼玉県国民健康保険団体連合会との共同として「糖尿病性腎症重症化予防対策事業」に参加。令和6年度の実績は次のとおり。 ①受診勧奨者数 70名 ②保健指導参加者数 9名 ③保健指導継続支援 1名 <p>【保健部門】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・健康相談会や主治医と連携した個別栄養指導を行った。
	三郷市	<ul style="list-style-type: none"> ・埼玉県生活習慣病重症化予防対策事業への参加 保健指導終了者数：8人 ・健診結果から、集団健診において下記対象に保健師、管理栄養士で指導を実施。 HbA1c7.5%以上の未治療者を対象に訪問指導を実施。訪問数：22件 HbA1c7.0%以上の未治療者に電話にて受診勧奨を実施。電話勧奨実施数：19件 収縮期血圧160mmHg以上の未治療者を対象に訪問指導を実施。訪問件数：108件
	吉川市	市糖尿病性腎症重症化予防プログラムに則り、重症度に応じて個別通知による受診勧奨や専門職による個別保健指導を実施。
	松伏町	・糖尿病予防教室の実施：全3回1コース延べ24名 糖尿病は生活習慣を見直すことで予防できることから、歯科、食事、運動の内容を盛り込み全3回の実施として開催した。
	草加保健所	管内各市健康づくり担当者を対象に会議を実施し、取組状況等の情報共有を図った。(年1回)
	春日部市医師会	春日部市からの依頼を受け、高齢者を対象とした介護予防講演会(うつ・認知症予防講座、脳血管疾患予防講座)に講師を派遣し、高齢者の健康づくりを支援した。
	越谷市医師会	後期高齢健康診査、骨粗しょう症検診、各種がん検診や各種ワクチン接種事業等を実施し、市民の健康寿命の延伸に寄与する医療活動を継続的に行っている。
	吉川松伏医師会	市と町が推進する各種の健康事業の促進のために、医療機関窓口にポスター掲示やリーフレットの配布をおこなった。
	草加八潮医師会	市が行うがん検診、ワクチン接種など事業に協力し、健康づくりを推進している。
	春日部市薬剤師会	春日部市保健センター健康フェアにて、お薬相談会を開催した。
埼玉県看護協会	認定看護師が地域の高齢者施設に出向き、口腔ケアや褥瘡予防の講義を行っている。	
		<p>いきいきシニアライフ応援事業(高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施)</p> <p><ハイリスクアプローチ> 対象：令和5年度後期高齢者健康診査結果から個別指導対象基準値に該当する75歳以上の市民 内容：対象者に事業案内を送付。利用希望者に対し4か月間に2回の訪問指導、1回の電話支援を実施。低栄養防止や口腔フレイルリスクの改善について指導。 実績：低栄養防止 8人、口腔フレイル予防 17人</p> <p><ポピュレーションアプローチ> 対象：地域の高齢者の通いの場等に参加する市民 内容：各地域包括支援センターから推薦のあった団体に対し、地区担当保健師が年に2回出向いて健康教育・健康相談を実施。 実績：利用団体(実)12団体、延参加者290人</p> <ul style="list-style-type: none"> ・健康づくりいきいき運動研修会 対象：おおむね60歳以上の市民 内容：年18回、ストレッチ、リズムダンス、筋肉運動等を実施 参加人数：484名 ・体力測定会

第8次計画埼玉県地域保健医療計画 東部保健医療圏 圏域別取組 R6年度実績(2)

圏域別取組	生活習慣病を踏まえた健康づくり対策
目標	県や市町の健康づくり計画を、行政・関係団体・住民が共に推進します。 生活習慣の改善につながる取組を通じて、生活習慣病の発症予防や重症化予防を推進し、また社会生活を営むために必要な機能の維持・向上により、健康寿命の延伸を目指します。
主な取組	<ul style="list-style-type: none"> ■食生活、運動等に関する正しい知識の普及や情報提供 ■特定健診や特定保健指導による生活習慣病の発症予防・重症化予防の推進 ■がん検診受診率向上によるがんの早期発見・早期治療の推進 ■糖尿病の発症及び重症化予防対策の推進 ■高齢者の健康づくりの推進
実施主体	医療保険者、市町、保健所、医師会、薬剤師会、関係団体

主な取組	実施主体	R6
	春日部市	<p>対象：おおむね60歳以上の市民 内容：年4回、握力、開眼片足立ち、長座体前屈、10m障害物歩行の4種目の測定を実施 参加人数：135名</p> <ul style="list-style-type: none"> ・元気アップ教室 <p>対象：おおむね65歳以上の市民 内容：年7回、歌や簡単な手遊びやレクリエーション、関節痛や体力低下予防等の教室を実施 参加人数：76名</p> <p>高齢者の介護予防のため、介護予防事業を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・健康脳トレ塾…脳トレ、栄養・口腔ケア・介護予防・認知症予防の講話、介護予防体操（そらまめ体操）など（開催回数：48回 延べ参加者数：1,029人） ・介護予防講演会…転倒予防、腰痛・膝痛予防、首痛・肩痛予防、うつ・認知症予防、脳血管疾患予防、薬、栄養、口腔ケア、音楽による認知症予防についての講話や実技（開催回数：10回、延べ参加者数：234人） ・そらまめ体操普及活動（実施会場：11か所、実施回数：441回、延べ参加者数11,010人） ・介護支援ボランティアポイント事業…高齢者施設などでボランティア活動をすすめる高齢者にポイントを付与（登録者数：426人） ・えんJOYトレーニング…住民主体型の介護予防体操（31団体） ・フレイルチェック事業…フレイルサポーターを養成し、住民主体によるフレイルチェック測定会を実施（測定会開催回数：9回、延べ参加者数：123
	草加市	<ul style="list-style-type: none"> ・介護予防普及啓発事業として、ドレミ♪でスッキリ教室…音楽と軽体操を組み合わせた認知症予防の教室を週1回全12回を年6コース行った。参加延べ人数1,498人。体力測定…握力やバランス力、歩行速度などを測定するもので年32回、205人参加。 ・ステップ教室…市内12会場で要支援・事業対象者を対象とした運動教室を月2回実施、延べ2,328人が参加。 ・地域包括支援センターによる介護予防教室…年68回実施 ・介護予防手帳の作成…市民向けに介護予防（運動、栄養、口腔、認知症）とACGPに関する情報提供と、セルフマネジメントを行うために、「わたしのいきいき元気ノート」を作成。2,898冊配布。 ・ジャンプ教室等への支援…住民主体の体操教室であるジャンプ教室は21団体あり、活動支援を行った。（専門職講師派遣35回、交流会2回延べ17団体延べ43人参加、プレジャンプ教室10回延べ148人参加）
	越谷市	<ul style="list-style-type: none"> ・地域での介護予防活動の中心となるリーダーを養成し、住民主体の通いの場等の活動を支援した。（5団体、10人の介護予防リーダーを養成） ・住民の通いの場へ専門職（理学療法士・作業療法士、言語聴覚士、歯科衛生士、栄養士、薬剤師）を派遣する介護予防出張講座を実施し、住民主体の介護予防の機能強化を支援した。（実施回数：82回、参加者：延べ1,586人） ・認知症予防、高齢期の心の健康に関する講演会を開催した。（2回、参加者：延べ117人） ・専門職の介護予防講座（薬・耳の聞こえ）を実施した。（2回、参加者：延べ37人） ・通いの場の周知として、介護予防体操実践講座、フレイル予防体験イベントを実施した。（3回、参加者：延べ330人） ・市内地区センター等を会場とした運動・口腔機能向上、低栄養改善のための複合プログラムである「お口と栄養と運動の元気塾」を実施した。（全4回×6コース 合計24回、参加者：67人） ・地域で介護予防に資する住民主体の通いの場の参加者の体力測定、健康状態のチェックを行い、状態を把握し、評価することで継続的な活動支援を行う「住民主体の介護予防活動（通いの場）評価事業」を実施した。（訪問回数：21回、参加者：延べ342人） ・介護予防の必要性を学び、運動をはじめめるきっかけづくりを目指し、「65歳からのいきいき元気教室」を開催した。（参加者：30人） ・高齢者が気軽に自宅で取り組める介護予防体操の広報資料（リーフレット）を活用し、広く広報活動を行った。
	八潮市	<p>【保健部門】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施として、ハイリスクアプローチ（健康不明者対策・重症化予防・フレイル予防）及びポピュレーションアプローチ（健康教育等）を実施した。 <p>【介護保健部門】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護予防体操教室、若返ろ！シニア体操教室：専門の指導員による体操教室を市内10ヶ所で開催。（年間全365回、延べ人数10,738人） ・俺の体操教室：男性を対象にした専門の指導員による筋力トレーニングや栄養指導の教室を実施。（年間全25回、延べ人数446人） ・ころばん介護予防教室：女性を対象にした専門の指導員による筋力トレーニングや栄養指導の教室を実施。（年間全28回、延べ人数329人） ・いこい体操：市内40会場で開催している八潮いこい体操に理学療法士、管理栄養士、歯科衛生士を派遣し、健康指導を実施。 ・おいしく食べよう栄養教室：管理栄養士によるバランスの良い食事についての講話や調理実習を実施。（年間全11回、延べ人数184人） ・俺の料理教室：男性を対象にした管理栄養士によるバランスの良い食事についての講話や調理実習を実施。（年間全2回、延べ人数16人） ・オーラルフレイル予防教室：歯科衛生士による嚙む力や飲み込む力、歯磨き（ブラッシング）の個別指導、口腔体操を実施。（年間全4回、延べ人数26人） ・フレイル予防教室：専門の指導員による筋力トレーニングや、認知症を予防するための教室を実施。（年間全24回、延べ人数126人） ・フレイルチェック測定会：毎月原則第4火曜日にフレイルチェック測定会を実施。（年間全12回、延べ人数113人） ・フレイルチェック測定会リピーターの日：過去に八潮市のフレイルチェック測定会に参加したことのある方を対象に開催。通常の測定項目に加え、八潮市独自の測定項目やグループトークを行う。（年間全2回、延べ人数20人）

第8次計画埼玉県地域保健医療計画 東部保健医療圏 圏域別取組 R6年度実績(2)

圏域別取組	生活習慣病を踏まえた健康づくり対策
目標	県や市町の健康づくり計画を、行政・関係団体・住民が共に推進します。 生活習慣の改善につながる取組を通じて、生活習慣病の発症予防や重症化予防を推進し、また社会生活を営むために必要な機能の維持・向上により、健康寿命の延伸を目指します。
主な取組	<ul style="list-style-type: none"> ■食生活、運動等に関する正しい知識の普及や情報提供 ■特定健診や特定保健指導による生活習慣病の発症予防・重症化予防の推進 ■がん検診受診率向上によるがんの早期発見・早期治療の推進 ■糖尿病の発症及び重症化予防対策の推進 ■高齢者の健康づくりの推進
実施主体	医療保険者、市町、保健所、医師会、薬剤師会、関係団体

主な取組	実施主体	R6
	三郷市	<p>高齢者の要介護・要支援状態を予防するため、以下の介護予防事業を開催した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・シルバー元気塾ゆうゆうコース（簡単な筋力トレーニング） 6会場 103回 参加者数224名 延べ人数2,892名 ・健康アップ教室（椅子に座ったままできる簡単な体操） 8会場 250回 参加者数428名 延べ人数6,185名 ・地区サロン事業（地域の高齢者のかたが集まり体操や趣味活動等を行う） 32会場 1,200回 参加者数1,037名 延べ人数15,877名 ・プールでウォーキング（市内スポーツクラブのプールを利用した水中歩行） 3会場 30回 参加者数70名 延べ人数669名 ・脳の健康教室（KUMONが作成した教材を利用した認知症予防のための教室） 2会場 44回 参加者数35名 延べ人数745名 ・複合介護予防事業（歯科医師会、薬剤師会、栄養士会、接骨師会、理学療法士会と連携したフレイル予防・認知症予防のための講演会） 4会場 7回 参加者数317名 ・口腔機能向上事業（歯科衛生士を地域の通いの場へ派遣） 9回 参加者数116名 ・歯科衛生士による訪問指導（広域連合が実施した健康長寿歯科検診において対象となり、訪問を希望する方に実施） 実施者数 7名 ・いきいき健幸教室（栄養、口腔、身体についての講座の後に簡単な調理・喫食） 2会場 4回 参加者数27名 ・いきいき朗読会（朗読および言語聴覚士による講座） 3会場 9回 参加者数40名 ・ひこり北エリア運動教室（体力測定や簡単な運動） 参加者数10名 ・高齢者への個別の支援事業（高齢者の保健事業と介護予防等の一体的な実施ハイリスクアプローチ） 健康状態不明者のうち、把握できた者196名へ必要に応じてフレイル予防や生活習慣病予防の指導を行った。
	吉川市	<ul style="list-style-type: none"> ・長寿支援課にて介護予防教室、地域の体操教室、フレイル予防事業を実施 いきいき運動教室：1コース全15回（概ね週1回・1.5時間）18コース 参加者652人 はつらつ運動教室：1コース全15回（概ね週1回・1.5時間）8コース （送迎あり）参加者115人 フレイル予防事業：フレイル予防サポーターフォローアップ講習会 2回 参加者21人 フレイルチェック 8回 参加者257人 地域の体操教室：理学療法士派遣 4回 運動指導士派遣 8回 奨励金交付 28団体 健康づくり・介護予防リーダーフォローアップ講習会 2回 参加者45名 包括による地域での介護予防教室：35回 参加者566人 男性のための運動教室：1コース 参加者17人
	松伏町	<ul style="list-style-type: none"> ・人生100年時代のためのアクティブ・エイジングパスポートとして「マップー・健幸・マイレージ」事業で町内の健康づくり事業と町地産品・推奨特産品と連動した事業で約1350人参加、194人認定 ・一般介護予防：・ご近所さん体操：町内24会場、549人登録、健康講座等の開催、・いきいき健康体操：延べ10回×3コース、2298人参加、音楽健康クラブ：延べ15回×2期5920人、・フレイル予防対策教室：高齢者向け講座や介護予防のためのスマホ教室や健康大学などの開催 ・生活習慣病予防教室の開催
	草加保健所	<ul style="list-style-type: none"> ・病院、介護老人福祉施設等の連携推進を目的とした給食関係者連絡会議を実施した。（年3回） ・歯科口腔保健連携推進会議にて、高齢者への歯科支援について市の事業を事例提供いただいた。
	春日部保健所	<ul style="list-style-type: none"> ・健康長寿サポーター養成講習 （実施日：令和6年4月23日 57名参加、令和6年8月8日 2名参加） ・令和6年度摂食嚥下研修会 （幸手保健所・加須保健所共催事業を県東ブロック保健所で共有） 講義Ⅰ「摂食嚥下障害の理解と付き合い方」 講義Ⅱ「携帯調整食について」 （実施日：令和6年11月1日～11月29日オンデマンド 5名参加） ・医療と介護の一体的栄養管理研修会 （加須保健所開催事業を県東ブロック保健所で共有） 講義1「診療報酬・介護報酬における管理栄養士の役割」 講義2「病院における栄養情報連携の実際」 講義3「高齢者施設における栄養情報連携の実際」 （実施日：令和7年2月19日 11名参加）

第8次計画埼玉県地域保健医療計画 東部保健医療圏 圏域別取組 R6年度実績(3)

圏域別取組	心の健康対策
目標	必要な人が速やかに適切な保健・医療・福祉の支援が受けられ、住み慣れた地域で安心して生活が継続できる支援体制づくりを目指します。
主な取組	<ul style="list-style-type: none"> ■精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築 ■精神保健に課題を抱える者への相談支援体制の整備 ■退院後の地域支援体制の充実強化
実施主体	保健所、市町、医師会、歯科医師会、薬剤師会、医療機関、福祉・介護施設 等

主な取組	実施主体	R6
① 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築	越谷市医師会	「越谷市認知症支援ガイドブック」内の「認知症・もの忘れ相談医一覧」の見直しと修正を行っている。
	三郷市医師会	在宅医療・介護連携サポートセンターによる関係機関間の情報共有及び連携の強化。
	埼玉県看護協会	精神疾患をもった妊婦にたいして、地域の病院と連携をしている。
	春日部市	<ul style="list-style-type: none"> ・実務者による事例支援会議を毎月開催、保健、福祉の各部署でかかわっているケースの情報共有、支援方法の検討を実施。R6年度：6回 ・精神保健関係者連絡会（月1回）に参加（12月・3月を除く） 参加機関：市保健福祉関係部署・保健所・委託相談支援事業所 内容：情報共有、事例検討、連絡調整
	草加市	<ul style="list-style-type: none"> ・病氣や障がいと確定診断がついた人のみならず、こころに問題を抱えた人を対象として草加市内で支援できることを目標とし、具体的な取り組みについて「こころの支援連絡会」での意見交換を実施。 ・精神障害について基本的な知識を知る機会とする勉強会を開催。 ・関連機関で集まり、実際に地域の中で対応に困っているもしくは成功事例となったケースについて考え、スキルアップを目指す事例検討会を開催。 ・市民に広く精神障害のことについて知ってもらえるような普及啓発活動として、講演会等のイベントを開催。
	越谷市	越谷市障害者地域自立支援協議会・精神障がい連絡会を「協議の場」として位置づけている。参加者は、市内精神科病院、市内三次救急医療機関、指定特定相談支援事業所、障がい者等基幹相談支援センター、保健所、市。令和6年度は2回開催し、保健・医療・福祉関係者による情報共有や相談支援専門部会との意見交換、市内各医療機関の特色、地域移行の状況、各相談支援事業所の特色、連携に関すること、困難ケースの対応、報酬改定などを議題とした。
	八潮市	今後の構築に向けて、コアメンバーによる検討会を実施。
	三郷市	<ul style="list-style-type: none"> ・医療機関、地域事業所も含めた事例検討の場への参加 ・「精神障害にも対応した地域包括ケアシステム」構築に向けて、医療・福祉・介護等を含めた協議の場を設置し、検討を進めてきた。また、保健所等が開催する研修会にも参加し、関係機関との連携強化に努めてきた。
	吉川市	<ul style="list-style-type: none"> ・精神障がい家族会などのリーフレットを配布した。 ・精神保健を含む複合的な相談、支援体制の在り方に関する庁内検討会議を実施している。
	松伏町	<ul style="list-style-type: none"> ・保健師による電話相談や窓口対応、月1回、精神保健福祉士による「こころの相談・ひきこもり相談」を実施し、必要に応じて関係機関と連携した。 ・年3回、関係機関と精神保健連携会議を実施した。 ・月1回、精神情報共有会議に参加し、ケース検討を行った。
	草加保健所	精神障害者支援地域協議会と精神障害者地域支援体制構築会議を集合とWebのハイブリット形式にて開催し、地域健康課題の共有や意見交換を行った。また、年度当初に管内担当者連絡会議を実施し、管内市の実情や意見等に基づき、市と共催した研修会の開催、事例検討会等を通して庁内連携に努めた。
	春日部保健所	管内の保健・医療・福祉関係機関の職員を対象に、関係機関との連携強化、情報共有することを目的に事業を実施。 <ul style="list-style-type: none"> ・市町精神保健福祉連絡会、春日部市自立支援協議会への参加（23回） ・保健所管内精神保健福祉連絡会（コア会議）の開催（6月27日 参加15名） ・保健所管内精神保健福祉連絡会の開催（11月14日 参加27名）

第8次計画埼玉県地域保健医療計画 東部保健医療圏 圏域別取組 R6年度実績(3)

圏域別取組	心の健康対策
目標	必要な人が速やかに適切な保健・医療・福祉の支援が受けられ、住み慣れた地域で安心して生活が継続できる支援体制づくりを目指します。
主な取組	<ul style="list-style-type: none"> ■精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築 ■精神保健に課題を抱える者への相談支援体制の整備 ■退院後の地域支援体制の充実強化
実施主体	保健所、市町、医師会、歯科医師会、薬剤師会、医療機関、福祉・介護施設 等

主な取組	実施主体	R6
② 精神保健に課題を抱える者への相談支援体制の整備	越谷市医師会	越谷市精神保健福祉専門相談事業や埼玉県福祉部嘱託医（更生相談）等に対し、順天堂大学医学部附属越谷病院や獨協医大埼玉医療センター専門医の推薦・派遣協力を行っている。
	三郷市医師会	在宅医療・介護連携サポートセンターによる相談体制の強化。
	埼玉県看護協会	リエゾンナースを中心に、相談支援を行っている。
	春日部市	こころの健康相談……臨床心理士・保健師による相談 臨床心理士による相談 毎月1回 相談件数：5件 保健師による相談は電話や面談により随時実施。
	草加市	<ul style="list-style-type: none"> ・緊急時に備えた「あんしんシート」「チェックシート」を相談支援事業所にて活用し、介護リスクがある世帯に施設申し込みや短期入所利用を促すなど、関係機関が本人や家族の状況を共有できるようにしている。 ・サービスをスムーズに利用できるよう「就労支援事業所マップ」の配架を行った。
	越谷市	<ul style="list-style-type: none"> ・こころの健康相談に関する窓口案内用リーフレットを作成し、来訪者や庁内外の関係機関等へ配布した。また市ホームページやSNS、広報紙等においてもインフォメーションを行った。 （こころの健康に関する相談件数（面接、電話、訪問）：計6,868件） ・精神保健困難事例について、専門家によるスーパーバイズから、未受診者等の見立てや支援者のスキルアップを図り、相談支援体制の充実を図った。 （精神科医師による専門相談：6回、内訳：訪問相談4件、面接相談3件） （公認心理師による専門相談：5回、内訳：検討事例9件） ・市内の二次救急医療機関及び消防局と連携し、「自殺未遂者相談支援事業」を実施した。同意の取れた自殺未遂者またはその親族等に対するアウトリーチ等面接相談を行い、また、不搬送者に対しては、救急隊より再企図防止メッセージカードを配付する等、自殺対策に関する相談支援体制の充実を図った。（支援件数：23件） ・ひきこもり市民教室、ひきこもり家族教室、ひきこもり支援者研修、発達障がいの家族教室、アルコール専門相談、自死遺族相談を実施し、ひきこもりやアルコール関連問題、精神疾患等に関する正しい知識の普及啓発を行った。また、ひきこもり家族のつどい、ひきこもり当事者の居場所も運営した。 （ひきこもり市民教室：1回、12人） （ひきこもり家族教室：1回、13人） （ひきこもり支援者研修：1回、21人） （発達障がいの家族教室：2回、計36人） （アルコール専門相談：1回、3組 自死遺族相談：2回、レビュー、1件） ・ゲートキーパー研修を、市民、小中学校教職員および県立大学教職員等を対象に実施した。（8回、計225人）
	八潮市	<p>【保健部門】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・随時、保健師による相談を実施。 ・毎月1回、精神科医によるこころの健康相談の実施。 ・悩みを相談できる相談窓口について、分野別に一覧した職員向けの相談窓口シートを作成し、相談業務にあたる職員に加え、相談業務にあたる相談員、民生委員・児童委員等178人に相談の内容に応じて専門機関等を案内できるように配布した。 ・障がいのある方とその家族向けの市内相談先一覧を作成し、窓口等にて配布を行った。 ・ゲートキーパー養成講座（市民向け）を実施した。受講者にゲートキーパー手帳を配布した。（実施日：令和6年11月21日（木）、受講者30人） ・こころの健康講座を2回実施した。（受講者51人） <p>【障がい部門】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・精神保健福祉講座を開催し、市民の普及啓発に努めた。
	三郷市	<ul style="list-style-type: none"> ・精神保健に係る相談体制の充実を図るため、各種相談機関を掲載したリーフレットを差し込んだポケットティッシュ、お守り型リーフレットを作成し、市民に配布した。また、市ホームページやメール配信サービス、SNS等でも周知を行っている。 ・精神保健福祉士によるゲートキーパー養成講座を市職員向け、市内高校生向け、市民向けの計3回開催したほか、精神科医による医療・介護・福祉機関向け講演会を1回開催した。 ・自殺対策街頭キャンペーンとして、三郷中央駅にて啓発品を配布するキャンペーンを1回行った。 ・自殺企図をして病院搬送されていないかたについて救急隊から相談機関を掲載したカードを配布してもらった。

第8次計画埼玉県地域保健医療計画 東部保健医療圏 圏域別取組 R6年度実績(3)

圏域別取組	心の健康対策
目標	必要な人が速やかに適切な保健・医療・福祉の支援が受けられ、住み慣れた地域で安心して生活が継続できる支援体制づくりを目指します。
主な取組	<ul style="list-style-type: none"> ■精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築 ■精神保健に課題を抱える者への相談支援体制の整備 ■退院後の地域支援体制の充実強化
実施主体	保健所、市町、医師会、歯科医師会、薬剤師会、医療機関、福祉・介護施設 等

主な取組	実施主体	R6
	吉川市	・こころと障がいの相談事業について広報に掲載するとともに、相談窓口のリーフレットを必要に応じて配布した。
	松伏町	・主な相談窓口の紹介チラシを作成し、関係機関の窓口へ設置・事業等で配布することにより、精神保健に関する相談窓口を情報提供した。(自治会連合会、自治会、住民健診、事業所、マップー栄養DAY(栄養の日イベント)、町民まつり、ゲートキーパー養成講座、ご近所さん体操) ・こころの健康講座としてゲートキーパー養成研修(町民)を実施し、103名(会場:60名、オンライン:43名)の小中学校教員等、関係機関職員が参加。悩んでいる児童・生徒の気持ちを考え、適切な声かけ方法、参加者自身が心の健康について悩んでいる方の心理や声かけの仕方などについて学んだ。
	草加保健所	市関係機関等と協同した個別支援や事例検討会を行い、個別事例への相談対応の強化を行った。また、管内4市で主催している自立支援協議会の全体会、部会を始め、自殺対策会議、障害者計画策定会議、事例検討会等へ参加し、相談支援体制強化に資する情報共有や課題の検討を行った。
	春日部保健所	管内関係機関職員を対象に、精神保健相談スキル向上を目的に研修を実施。 ・地域包括ケアシステム構築推進研修の実施(2月25日)
③ 退院後の地域支援体制の充実強化	三郷市医師会	在宅医療・介護連携サポートセンターによる相談体制の強化。
	埼玉県看護協会	精神疾患をもった褥瘡に対して、地域の福祉に連絡し切れ目ない支援を行っている。
	草加市	退院前から医療機関を訪問し、本人を含めた支援体制について関係機関と地域で安定した生活を送れるようサービス調整を行った。
	越谷市	・市民の措置入院解除時は、県保健所が主催する調整会議(措置解除面接)に出席した。措置入院解除後は県保健所から市保健所へ支援機関が移るため、退院後の地域生活支援体制を整えた。また、医療保護入院等も含めて、退院後は来所面接やアウトリーチ等で定期的に病状等を確認するとともに、訪問看護ステーションや障がい者等基幹相談支援センター、地域包括支援センター等と連携し、当事者および家族等の地域生活を継続的にフォローした。
	八潮市	基幹相談支援センター、相談支援事業所や保健所、医療機関と連携を図り、退院後の支援体制について調整を行った。
	三郷市	・相談支援事業所と連携し、入院中より障害福祉サービス等の制度利用について説明を行い、再入院防止に向けた支援体制を整えた。 ・退院促進や地域生活の定着を目的とする「精神障害にも対応した地域包括ケアシステム」構築に向けて、精神障がい者支援部会にて検討を進めてきた。
	吉川市	・こころと障がいの相談事業について広報に掲載するとともに、相談窓口のリーフレットを必要に応じて配布した。
	松伏町	・必要に応じて、退院時カンファレンスに参加。基幹相談支援センターを中心に、医療機関や関係機関と連携し、地域で安定した生活を送れるよう支援している。
	草加保健所	措置入院者に関しては、措置入院解除のタイミングで面接や会議を開催し、退院後の再発予防、社会参加を目標として課題共有、支援方針を本人、家庭、関係機関等と協議した。また、精神障害者支援地域協議会(代表者会議)では、措置入院運用上の課題や退院後支援の実情等を警察を交えて関係機関と共有した。
	春日部保健所	退院後に必要な医療等の支援を継続的に受けられるようにすることで、社会復帰の促進等を図ることを目的として事業を実施。 ・精神障害者支援地域協議会(代表者会議)の開催(11月14日 参加27名) ・精神障害者支援地域協議会(調整会議)の実施(25回)

第8次計画埼玉県地域保健医療計画 東部保健医療圏 圏域別取組 R6年度実績（4）

圏域別取組	感染症医療と健康危機管理体制の整備
目標	県民の生命・安全を脅かすような事案に対し、迅速・的確に対応するため、地域における健康危機管理体制の整備充実を図ります。また、食中毒や感染症発生の未然防止対策の充実に努めます。
主な取組	<ul style="list-style-type: none"> ■感染症対策の強化 ■災害時医療の提供体制確保に向けた取組と健康危機管理体制の充実強化 ■食の安全・安心確保
実施主体	保健所、市町、医師会、歯科医師会、薬剤師会、医療機関、消防本部 等

主な取組	実施主体	R6
① 感染症対策の強化	越谷市医師会	「外来感染対策向上加算」算定医療機関の普及啓発活動を行い、防護服着脱訓練等の講習会や感染対策学術研修会を実施している。
	吉川松伏医師会	<ul style="list-style-type: none"> ・感染症対策として、吉川市が実施する予防接種説明会へ医療機関等が参加した。 ・インフルエンザ・コロナワクチン15医療機関、定期予防接種説明会へは20医療機関 ・埼玉県が実施する感染協定の説明会を開催し、14医療機関が参加し感染対策の促進を図った。
	草加八潮医師会	外来感染対策向上加算のカンファレンスや訓練を開催し、医師会内での感染症に対する知識の充実を図っている。訓練では、避難所の感染対策を取り上げている。
	三郷市医師会	学術講演会を開催し、インフルエンザ等感染症に対する知識の充実化を図る。
	春日部市薬剤師会	新型インフルエンザ等感染症、指定感染症又は新感染症に係る医療提供体制を確保する（第二種協定指定医療機関） 学級閉鎖情報を学校薬剤師と共有し現状把握している。 学級閉鎖情報を学校薬剤師だけでなく会員と共有し、薬局の在庫管理や地域医療の為に活用している。
	埼玉県看護協会	感染委員会を中心に、地域との連携をとり、職員には講義を行い強化をおこなっている。
	春日部市	<ul style="list-style-type: none"> ・新型インフルエンザ等対策特別措置法に基づき、備蓄品（医薬材料）を購入。ローリングストックについて、備蓄計画表を作成し管理体制を整備した。（消毒用エタノール：備蓄量780L。防護対策キット：備蓄数40セット。） ・感染症について、広報紙やホームページ等を通じて情報提供を行い、感染予防についての啓発、感染拡大の注意喚起を行った。
	草加市	<ul style="list-style-type: none"> ・避難所となる各小・中学校等に、感染者等（体調不良者）専用スペースを設けている。 ・避難所となる各小・中学校等の備蓄倉庫に感染防止対策初動セット（フェイスシールド、マスク、非接触体温計等）を備蓄している。
	越谷市	<ul style="list-style-type: none"> ・結核患者対応については、調査、勧告、DOTS（直接服薬確認療法）、管理検診・接触者健診等を通常通り行うとともに、結核予防週間に広報・ホームページ・懸垂幕等を活用して市民向けの普及啓発活動を行うほか、関係事業所に結核の定期健診の受診勧奨通知を行うなど、結核感染対策に努めた。 ・エイズ等感染症検査については、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により令和4年度まで縮小していた通常検査・即日検査の回数を令和5年度より通常回数に戻したうえ、イベント検査を年1回から2回に増やして行うなど、感染対策の充実に努めた。
	八潮市	感染防止について、ポスター/チラシ等を作成のほか、催事の機会を利用し注意喚起を行った。また、適宜広報やホームページにおいても啓発を行った。
	三郷市	季節に応じた各種感染症の流行状況を確認し、随時メール配信サービスやSNSで周知啓発を行った。また、乳幼児に起こりやすい感染症についてはリーフレットを作成し、乳幼児健診会場で配布した。
	吉川市	感染予防対策について広報紙やHPへの掲載、ポスター掲示にて周知した。
	松伏町	<ul style="list-style-type: none"> ・感染流行情報を随時確認し個別支援に活かしたり関係機関・部署と共有した。 ・感染予防対策について広報、ホームページ、ポスター掲示等で周知を行った。 ・予防接種情報について、受診漏れを防止し実施率を上げるための工夫（健診等の案内や確認）に務めた。
	草加保健所	<ul style="list-style-type: none"> ・令和6年度感染症発生状況：3類27件、4類15件、5類49件 ・令和6年新規結核登録患者数 103人、年末登録者数 147人 ・感染症発生動向調査：26医療機関の協力により発生動向を把握した。 ・性感染症検査（4月～10月実施）延べ156人 ・管内保育施設職員向け感染症対策研修会と高齢者施設向け感染症対策研修会を開催した（令和6年9月18日、令和7年2月14日）。 ・所内職員向けに新興感染症発生を想定した患者搬送車の運用訓練を実施した（令和6年12月3日）。管内医療機関の感染管理認定看護師にも見学してもらった。 ・県の新型インフルエンザ等対策行動計画の改訂を受けて、所内健康危機対処計画（感染症編）の改訂を行った。
春日部保健所	<ul style="list-style-type: none"> ・結核患者への服薬支援、感染者・患者の早期発見により結核の蔓延防止を図った。 令和6年結核新規登録者数17人（内、潜在性結核感染症9人）管理検診66人 接触者健診82人 訪問102人 面接58人 電話等298人（結核） ・定点医療機関から感染症患者の報告を受け、感染症の発生及び流行状況を正確に把握分析。その情報を医療機関・教育機関等と共有し、迅速な診断・有効かつ的確な感染対策を図り、感染症の発生及びまん延を防止した。 	

第8次計画埼玉県地域保健医療計画 東部保健医療圏 圏域別取組 R6年度実績（4）

圏域別取組	感染症医療と健康危機管理体制の整備
目標	県民の生命・安全を脅かすような事案に対し、迅速・的確に対応するため、地域における健康危機管理体制の整備充実を図ります。また、食中毒や感染症発生の未然防止対策の充実に努めます。
主な取組	<ul style="list-style-type: none"> ■感染症対策の強化 ■災害時医療の提供体制確保に向けた取組と健康危機管理体制の充実強化 ■食の安全・安心確保
実施主体	保健所、市町、医師会、歯科医師会、薬剤師会、医療機関、消防本部 等

主な取組	実施主体	R6
② 災害時医療の提供体制確保に向けた取組と健康危機管理体制の充実強化	春日部市医師会	春日部市、春日部市医師会、薬剤師会等とともに、年数回の災害時医療に関する会議を行うとともに、10月20日（日）に市立医療センターを会場に災害時医療救護訓練（トリアージ訓練）を実施した。
	越谷市医師会	越谷市災害対策マニュアルに基づいた有事の際の医療提供のあり方について継続的に検討している。市設置の医療救護所への医療班派遣準備の体制構築を図り、医療救護所設置訓練を市との共催で行った。また、医療救護活動に必要なトリアージに関するスキルアップ研修を会員医師のみならず、市保健師や医療機関勤務看護師、歯科医師会、薬剤師会、接骨師会にも受講対象を拡げ災害医療への理解と医療班への参加協力に対する意識啓発に取り組んでいる。他地域への応援要請に応えるべく、Jmat活動にも取り組みを強化した。
	吉川松伏医師会	<ul style="list-style-type: none"> ・吉川市、松伏町の地域防災計画改定などの策定、防災会議へ、担当医師を当会より推薦し派遣した。 ・吉川市、松伏町の行政と連携して策定した災害時における医療提供体制「吉川松伏医師会 災害対策マニュアル【震災編】」を策定し会員へ周知した。 ・松伏町開催の防災訓練の中で医師会主催のトリアージ訓練を実施した。
	草加八潮医師会	災害医療対策委員会を開催し、新災害対応マニュアルを策定した。また、草加市、草加市立病院と連携し、草加市医療救護所訓練を実施した。草加市が予定している救護所で順次訓練を実施していく。また、八潮市とは、八潮中央病院との連携など、救護所の運営について協議を続けている。
	三郷市医師会	防災医療対策協議会の一員として大規模災害時に備えた防災医療体制の充実化を図り、トリアージ訓練や化学災害対策訓練を実施。
	東埼玉歯科医師会	・災害対策委員会で歯科医療提供について協議した。
	春日部市薬剤師会	春日部市災害時医療救護所への医薬品・衛生材料を会員薬局で備蓄し、発災時に救護所への持参体制を構築。春日部市災害時医療救護訓練に薬剤師会会員の参加。葛飾区医療救護訓練視察アマチュア無線を使った緊急時医療救護所間の通信訓練を行った。
	春日部市	<ul style="list-style-type: none"> ・災害時医療に関する打合せを春日部市医師会他関係機関と行い、災害時における医療救護活動について協議した。（6回開催） 参加団体：医師会、歯科医師会、薬剤師会、接骨師会、鍼灸マッサージ師会、警察、市消防本部、市防災対策課、市健康課 開催日：令和6年4月24日、6月24日、9月17日、10月15日、11月19日、令和7年2月7日
	草加市	<ul style="list-style-type: none"> ・草加市の医師会、歯科医師会、薬剤師会等と、災害時の医療提供体制整備のための協議を継続している。 ・医療機関と市が連携し、災害発生時に開設することとなる医療救護所の開設・運営訓練を初めて実施した。 ・草加八潮医師会、草加市歯科医師会、草加市薬剤師会と連携し、災害発生時に迅速な医療救護活動を実施するため、協定の締結に向け協議を進めた（令和7年4月協定締結済み）。 ・医療体制の維持と被災者に必要な医療を提供するため、市内の規模の大きい医療機関等と協定の締結に向け協議を進めた（令和7年5月9日締結済み）。 ・このほか、災害関連死ゼロを目指し、各関係機関とともに草加市災害医療検討委員会において、様々な検討を進めていた。
	越谷市	<ul style="list-style-type: none"> ・医療救護所設置訓練の実施 越谷市医師会、越谷市歯科医師会、越谷市薬剤師会、越谷市接骨師会と連携し、医療救護所設置訓練を2会場で実施した。（実施日：11月2日、参加者33名） 【保健総務課】 ・越谷市健康危機対処計画（感染症編）を作成し所内に周知した。（作成日：令和6年3月） ・越谷市感染症予防計画及び越谷市健康危機対処計画に基づく感染症患者対応訓練を実施した。（実施日：令和7年3月7日） 参加者：本庁職員1人、消防職員13人、保健センター職員3人、保健所職員22人、IHEAT要員2人、ICN10人
	八潮市	<ul style="list-style-type: none"> ・令和6年度埼玉県草加保健所地域災害保健医療調整会議に出席した。 ・草加八潮医師会の災害時医療担当の医師、草加市立病院DMATの医師、市の危機管理部門・保健衛生部門をメンバーとした災害医療対策打ち合わせに出席し、救護所設置や災害時における初動等の情報交換を行った。（実施日：令和6年8月25日 参加者15人）
	三郷市	<ul style="list-style-type: none"> ・防災医療対策協議会を開催し、防災医療体制について協議を行った。 参加団体：医師会、歯科医師会、薬剤師会、接骨師会、三郷市危機管理防災課、三郷市健康推進課、三郷市消防本部、三郷市消防署 開催日：令和6年5月10日、7月5日、9月6日、11月1日、令和7年3月7日 ・上記協議会のなかで、医師会、歯科医師会、薬剤師会、接骨師会と災害時の連絡体制等について協議を行った。
吉川市	<ul style="list-style-type: none"> ・入院患者のいる医療機関に対し、要配慮者利用施設に係る避難確保計画や訓練実施結果報告書の提出を依頼。 ・第9回減災プロジェクトを栄小学校で開催 日時：令和6年11月10日 場所：北谷小学校 内容：避難所開設訓練、受付訓練、防災設備等の見学、資機材組立訓練 	

第8次計画埼玉県地域保健医療計画 東部保健医療圏 圏域別取組 R6年度実績（4）

圏域別取組	感染症医療と健康危機管理体制の整備
目標	県民の生命・安全を脅かすような事案に対し、迅速・的確に対応するため、地域における健康危機管理体制の整備充実を図ります。また、食中毒や感染症発生の未然防止対策の充実に努めます。
主な取組	<ul style="list-style-type: none"> ■感染症対策の強化 ■災害時医療の提供体制確保に向けた取組と健康危機管理体制の充実強化 ■食の安全・安心確保
実施主体	保健所、市町、医師会、歯科医師会、薬剤師会、医療機関、消防本部 等

主な取組	実施主体	R6
③ 食の安全・安心確保	松伏町	<ul style="list-style-type: none"> ・春日部保健所主催地域災害保健医療調整会議に参加 ・熱中症対策で町内関係部門と連携 ・避難所開設訓練の実施 ・松伏町防災訓練に参加した。またその中で吉川・松伏医師会のトリアージ訓練に参加した。
	草加保健所	<ul style="list-style-type: none"> ・春日部保健所で主催する東部・利根地域健康危機管理研修に職員が参加し、災害時における避難所等のトイレ問題について理解を深めた（R6年7月） ・草加保健所地域災害保健医療調整会議を開催し、大規模地震時医療活動訓練の参加報告及び管内の災害時医療の取組状況等、災害時の健康危機管理体制について関係者間で共有した（R6年11月）。 ・県及び東部地域との衛星携帯電話、防災無線による通信訓練に参加し、災害時の連絡手段を確認した（令和6年11月及び令和7年2月）。 ・庁舎改修工事完了に伴い健康危機発生時における草加保健所健康危機管理マニュアルの改訂に着手した（令和7年3月）。
	春日部保健所	埼玉県東部（北）保健医療圏地域災害保健医療調整会議を開催（開催日：令和7年1月24日）し、災害時置ける保健医療体制確保ため必要な協議を行った。
	春日部市薬剤師会	令和6年9月24日、令和7年1月28日 春日部市給食センターへ立入検査を実施。
	草加市	<ul style="list-style-type: none"> ・ノロウイルス流行時期に合わせ、ホームページを更新、草加市あんしんメールの配信を行い、食中毒予防の周知を行った。 ・食中毒予防の普及啓発を行いつつ、調理実習を行った。
	越谷市	<ul style="list-style-type: none"> ・食品営業施設等の立入検査及び食品の製造・販売施設の監視を実施した。（714施設） ・市内で製造・販売される食品等について法等に基づき食品収去等検査を実施した。（128検体、2,846項目数） ・食品関係業者等への衛生教育を実施した。 ・食品業者や従業員等に対して、食中毒予防のための講習会を実施した。（衛生講習会実施数4回、参加者数223名、動画配信6件、視聴回数2,782回）
	八潮市	気温が高くなり食中毒が心配される6月に、広報誌・ホームページ等を活用して食中毒予防の原則について周知を行った。
松伏町	ノロウイルスの注意喚起を広報誌1月号で実施した。	
草加保健所	<ul style="list-style-type: none"> ・HACCP導入の普及・啓発：営業許可新規・継続時等の周知施設1,600施設 ・施設に対する重点的・専門的な監視指導 <ul style="list-style-type: none"> ①生の野菜等を加工提供する施設の監視：6施設 ②生食用食肉提供施設の監視：22施設 ・食の安心・安全についての情報提供：衛生教育の実施16回 	
春日部保健所	食品関係業者に向けて食品衛生に関する正しい知識の普及啓発のため、講習会を124回実施し、447名が参加した。	

第8次計画埼玉県地域保健医療計画 東部保健医療圏 圏域別取組 R6年度実績(5)

圏域別取組	在宅医療の推進
目標	地域住民が疾病を抱えても、最期まで住み慣れた環境で自分らしい生活を続けられるよう地域包括ケアシステムを構築するために、在宅医療の充実と在宅介護との連携の推進を図ります。
主な取組	<ul style="list-style-type: none"> ■在宅医療・介護の連携の推進 ■在宅医療連携拠点の充実 ■在宅医療・介護関係者の情報共有、相談体制の支援 ■関係機関の連携の推進
実施主体	市町、保健所、地域包括支援センター、医師会、歯科医師会、薬剤師会、医療機関、薬局、訪問看護ステーション、介護施設 等

主な取組	実施主体	R6
①在宅医療・介護の連携の推進	春日部市医師会	毎月「春日部市在宅サービス多職種連絡協議会（春宅会）」を開催し、医師、歯科医師、薬剤師、柔道整復師、鍼灸マッサージ師、看護師、ケアマネジャー、地域包括ケアセンター職員、春日部市健康保険部職員等が一同に会し、在宅医療や介護に関する意見交換を行うことで、多職種間の連携強化を図った。
	越谷市医師会	地域包括ケアシステム構築に向けた「在宅医療・介護連携推進事業」8つのうち、「関係市区町村の連携」以外の7つの項目を実施。また、越谷市ケース検討会議参加医師のコーディネートを行うなど、多職種連携推進のハブの役割を担う組織として連携推進の構築に取り組んでいる。
	吉川松伏医師会	<ul style="list-style-type: none"> ・在宅医療連携拠点の吉川松伏在宅医療サポートセンターを中心に、在宅医療、介護連携に関わる相談業務、在宅療養に関わる普及啓発業務、多職種間や在宅医療への理解を促進するため、各専門職の技術向上や多職種の連携につながる研修の開催などを計画し実施した。 ・吉川松伏医師会 訪問看護ステーションを運営した。 対象人数 月85人 訪問回数 月420回 訪問看護利用者 内訳 介護保険 50人
	草加八潮医師会	草加市・八潮市の委託を受け、在宅医療サポートセンターでは、相談業務、市民向け講座の開催、多職種の交流・研修、入退院支援ルールの説明のなど医療と介護の連携を図った。
	三郷市医師会	在宅医療・介護連携サポートセンターによる医療・介護連携の推進。
	東埼玉 歯科医師会	・吉川松伏多職種連携の会に参加し連携を図った。
	春日部市 薬剤師会	春日部市在宅サービス多職種連絡協議会（春宅会）、地域ケア会議に参加し連携する場を持つ。
	春日部市	医療・介護関係者を対象に「春日部市医療介護連携研修・交流会（春コン）」を年4回開催した。 ①実施日：5月14日（グループディスカッション）テーマ：「在宅医療介護における薬剤師との連携を深化させよう！」（参加者数：104人） ②実施日：8月23日（オンライン）テーマ：「いま知ってほしい地域包括支援センターの取り組み」（視聴回数：161回） ③実施日：11月27日（グループディスカッション）テーマ：「地域包括支援センターとの連携を考えよう」（参加者数：97人） ④実施日：2月21日（オンライン）テーマ：「がん患者のQOL向上に向けた医療介護の連携と多職種協働を考える」（視聴回数183回）
	草加市	<ul style="list-style-type: none"> ・在宅医療・介護多職種協働研修会を開催。講義やグループワークを通じて知識の習得や顔の見える関係の構築を推進した。基礎編2回、各論編（認知症・日常療養・急変時・入退院時）4回の計6回実施し、参加者は計280人。 ・研修会の様子を動画に撮影し、後日、動画配信を行っている。
	越谷市	<ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度から令和3年度に越谷市入退院支援ルールを作成し、令和4年度より施行した。入退院支援ルールの周知や利用状況を確認するため、アンケートを実施した。また、令和6年度に入退院支援ルールの冊子の改訂を行った。 ・ACPの普及啓発のため、講演会を実施した。（1回・参加者73人）また、地域包括支援センター主催の会議、サロン、自治会等も活用し、出張講座を行った。（12回・参加者260人）
	八潮市	<ul style="list-style-type: none"> ・在宅医療・介護連携推進事業研修会（医療・介護事業者向け）を実施した。（実施日：10月18日（金） 参加者28人） ・在宅医療介護連携講演会（市民向け）を実施した。（実施日：12月11日（水） 参加者55人）
	三郷市	<ul style="list-style-type: none"> ・入退院支援ルールをMCSと多職種連携用冊子へ継続掲載。 ・市民講演会「在宅看取り」講座開催し、在宅看取りの絵本の動画を上映を行った。 ・「介護の絵本」の動画を作成し、三郷市のホームページに掲載した。 ・ACP普及啓発講師3名が市民向けACP出前講座を各1回開催した。
	吉川市	<ul style="list-style-type: none"> ・吉川松伏多職種連携の会を2回開催し、医師、歯科医師、薬剤師、相談員、ケアマネジャー、地域包括支援センター職員等が一同に会し、ACPの普及啓発や入退院支援ルールの検討をした。同会主催による専門職向けの研修会を1回開催した。 ・吉川松伏在宅医療サポートセンターを医師会に委託しており、センターによる医療・介護連携の推進をしている。
	松伏町	<ul style="list-style-type: none"> ・入退院支援ルールの運用 令和5年度に作成した「吉川・松伏入退院支援ルール」を地域の医療機関やケアマネ事業所等に配布し運用を開始した。
草加保健所	東部（南）保健医療圏の在宅医療の取組の推進を図ることを目的に埼玉県東部地域保健医療協議会、東部（南）保健医療圏在宅医療部会を設置している。コロナ禍のため休止していた当該部会は令和5年度に再開したが、令和6年度は保健所庁舎の改修工事により休止した。	
②在宅医療連携拠点の充実	越谷市医師会	「医療・介護の連携拠点運営委員会」を開催し、拠点運営に係る協議を行っている。委員会は、越谷市役所、越谷市医師会連携拠点担当理事および医師、越谷市医師会立訪問看護ステーションの看護師、拠点職員で構成。また、移管されている越谷市地域医療課とは毎月打合せの会合を実施。

第8次計画埼玉県地域保健医療計画 東部保健医療圏 圏域別取組 R6年度実績(5)

圏域別取組	在宅医療の推進
目標	地域住民が疾病を抱えても、最期まで住み慣れた環境で自分らしい生活を続けられるよう地域包括ケアシステムを構築するために、在宅医療の充実と在宅介護との連携の推進を図ります。
主な取組	<ul style="list-style-type: none"> ■在宅医療・介護の連携の推進 ■在宅医療連携拠点の充実 ■在宅医療・介護関係者の情報共有、相談体制の支援 ■関係機関の連携の推進
実施主体	市町、保健所、地域包括支援センター、医師会、歯科医師会、薬剤師会、医療機関、薬局、訪問看護ステーション、介護施設 等

主な取組	実施主体	R6
	吉川松伏医師会	<ul style="list-style-type: none"> ・ 往診医の紹介など在宅医療に関する相談業務を行った。また、在宅療養支援支援ベッドの確保、調整を行った。 ・ 相談件数 81件 ・ 支援ベッド確保 365日(R6.4.1~R7.3.31) ・ 支援ベッド利用者延べ人数 3人 ・ 支援ベッド利用延べ日数 23日 ・ 広報通信誌発行 12回 ・ 研修会など開催 28回 (住民向け人生会議講演会 9回)
	草加八潮医師会	経験豊かな職員の採用し、拠点の運営充実を図った。
	三郷市医師会	在宅医療・介護連携サポートセンターによる後方支援ベッド体制等の充実化。
	東埼玉 歯科医師会	・在宅歯科医療推進窓口にて訪問歯科医院の紹介や在宅歯科医療についての相談を受けた。
	春日部市 薬剤師会	春日部市在宅サービス多職種連絡協議会(春宅会)、地域ケア会議を通じ多職種と包括支援センターをサポート
	春日部市	春日部市地域包括ケアシステム推進センターに在宅医療介護連携拠点を設置し、業務を委託して実施した。
	草加市	一般社団法人草加八潮医師会に委託し、「在宅医療サポートセンター」を在宅医療連携拠点として設置している。
	越谷市	<ul style="list-style-type: none"> ・ 令和2年度から令和3年度に越谷市入退院支援ルールを作成し、令和4年度より施行した。入退院支援ルールの周知や利用状況を確認するため、アンケートを実施した。また、令和6年度に入退院支援ルールの冊子の改訂を行った。 ・ ACPの普及啓発のため、講演会を実施した。(1回・参加者73人)また、地域包括支援センター主催の会議、サロン、自治会等も活用し、出張講座を行った。(12回・参加者260人)
	八潮市	在宅医療連携拠点として、在宅医療サポートセンターを草加八潮医師会に業務委託し、在宅医療・介護に関する相談支援を行った。(相談件数54件)
	三郷市	・三郷市在宅医療介護連携サポートセンターを三郷市医師会に委託。
	吉川市	・吉川松伏在宅医療サポートセンターを吉川松伏医師会に委託し、平成30年4月から運営。
	松伏町	<ul style="list-style-type: none"> ・ 令和6年4月1日に新たに1カ所地域包括支援センターを増設し、町内2カ所体制とした。 ・ 吉川松伏在宅医療サポートセンターを運営した。 ・ 人生会議(ACP)や在宅医療に関する研修会を年4回開催した。
③在宅医療・介護関係者の情報共有、相談体制の支援	春日部市医師会	年に4回、「春日部市医療介護連携研修・交流会(春コン)」を開催(うち2回は動画配信)し、医師、歯科医師、薬剤師、柔道整復師、鍼灸マッサージ師、看護師、ケアマネージャー、介護サービス事業所職員、地域包括支援センター職員、春日部市健康保険部職員等が一同に会し、グループワークを通じて意見交換や情報共有を図った。
	越谷市医師会	医療・介護連携に係る相談窓口業務。例年、医療機関・ケアマネからの相談が多く令和6年度は297件(例年比-27)の相談があった。専門職種からの相談内容をまとめた「医療と介護の連携窓口便り」を毎月発行し関係機関・団体へ配布。地域が抱える課題解決のため、研修会を実施。研修会後アンケートは情報共有し次の研修会や課題解決に繋げている。ホームページはリニューアルし、関係機関へのリンクや連携窓口便り検索システム・トピックスなどの掲載でさらに活用できるようにした。多職種連携ツールMCSの活用推進のため周知活動を継続。
	吉川松伏医師会	市町の行政と連携して、SNSのメディカルケアステーションを活用し、吉川市と松伏町の全医療機関、介護事業者の全ユーザーグループを作成して、多職種の情報共有、連携を図った。
	草加八潮医師会	市民、医療機関、ケアマネからの相談業務を行うとともに、医療機関や介護関係者との情報提供を行っている。
	三郷市医師会	在宅医療・介護連携サポートセンターによる多職種連携に主眼を置いた研修会等の定期的な開催による支援体制の強化。
	東埼玉 歯科医師会	・MCSへの登録歯科医療機関を増やし連携強化を図った。
	春日部市 薬剤師会	「春日部市医療介護連携研修・交流会」、地域ケア会議に参加し支援策の検討をした
	埼玉県 看護協会	在宅へ退院する患者にたいして、拡大カンファレンスを行い情報共有をして、退院以降も切れ目ない医療の提供を支援している。

第8次計画埼玉県地域保健医療計画 東部保健医療圏 圏域別取組 R6年度実績(5)

圏域別取組	在宅医療の推進
目標	地域住民が疾病を抱えても、最期まで住み慣れた環境で自分らしい生活を続けられるよう地域包括ケアシステムを構築するために、在宅医療の充実と在宅介護との連携の推進を図ります。
主な取組	<ul style="list-style-type: none"> ■在宅医療・介護の連携の推進 ■在宅医療連携拠点の充実 ■在宅医療・介護関係者の情報共有、相談体制の支援 ■関係機関の連携の推進
実施主体	市町、保健所、地域包括支援センター、医師会、歯科医師会、薬剤師会、医療機関、薬局、訪問看護ステーション、介護施設 等

主な取組	実施主体	R6	
	春日部市	<ul style="list-style-type: none"> ・春日部市地域包括ケアシステム推進センターにて、医療・介護関係者、地域包括支援センター等への相談支援及び情報提供を実施した。(相談件数：29件) ・「春日部市在宅サービス多職種連絡協議会」と活動情報を掲載した広報誌「春しん」を発行。1回(令和6年9月) ・春日部市多職種コミュニケーションツール【春コミュ】(MSC)の運用 ・春日部市医介連絡ツール【春れん】の運用 	
	草加市	<ul style="list-style-type: none"> ・医療機関・介護事業所の情報を記載した「草加市在宅医療・介護連携ガイド」を作成し、医療・介護従事者に向け配布した。(650部) ・「在宅医療サポートセンター」において、在宅医療・介護に関する相談支援を行った。(相談件数：352件) ・MCS(ICTを使用した情報連携ツール)の紹介・案内を随時実施した。 	
	越谷市	<ul style="list-style-type: none"> ・関係者が情報共有するための広報誌「医療と介護の連携窓口便り」を毎月発行した。 ・越谷市医療と介護の連携窓口が医療・介護関係者からの相談窓口となり、電話・メール等の相談を297件受け付けた。 	
	八潮市	<ul style="list-style-type: none"> ・在宅医療サポートセンターによる、MCSの登録作業や、ホームページ等による事業啓発を行った。 ・事業者向けの医療・介護資源リストを更新し、市内の医療機関・薬局・介護サービス事業所等に配布した。 ・市内の医療機関・居宅介護支援事業所等に対し、入退院支援ルールの周知・活用促進に努めた。 	
	三郷市	<ul style="list-style-type: none"> ・三郷市在宅医療介護連携サポートセンターにて、市内事業所のMCS登録手続き等を管理。市の独自ルール、運用ポリシーに則り、円滑な活用の推進に取り組んでいる。 	
	吉川市	<ul style="list-style-type: none"> ・平成30年9月から「医療・介護情報提供システム」が公開され、在宅医療、介護関係者間の情報を共有している。 ・MCSの紹介・案内を随時実施した。 ・吉川松伏在宅医療サポートセンターにおいて、在宅医療・介護に関する相談支援を行った。 ・入退院支援ルールが完成。説明会を実施。 ・市のホームページに在宅医療に関する案内ページを随時更新した。 	
	松伏町	<ul style="list-style-type: none"> ・ICT情報共有ツール(MCS(メディカルケアステーション))の活用し日常的な連携の強化した。 ・地域ケア会議 ケアマネ会議を年7回開催した。 ・認知症地域支援推進員を1名から3名に増員し、各地域包括支援センター及び社会福祉協議会に配置した。 	
	草加保健所	「草加市在宅医療・介護連携推進協議会」、「八潮市在宅医療・介護連携推進会議」及び「吉川・松伏多職種連携の会」に定期的に出席し、情報提供等を行った。	
	④関係機関の連携の推進	春日部市医師会	毎月「春日部市在宅サービス多職種連絡協議会(春宅会)」を開催し、医師会、歯科医師会、薬剤師会、柔道整復師会、鍼灸マッサージ師会、認知症疾患医療センター、地域包括支援センター、看護部会、介護サービス事業所、春日部市健康保険部などが一同に会し、在宅医療や介護に関する意見交換を行うことで、関係機関の連携を図った。
		越谷市医師会	「医療と介護連携の会・世話人会」を年に4回開催。越谷市における多職種の各団体代表者が一堂に会し、地域包括ケアシステム推進のための意見交換や体制構築に深く関与した協議会となっている。県内の横断的な繋がりを目指して作られたMCSの県内拠点グループは、現在も継続。「越谷市在宅緩和地域連携委員会」は緩和ケアの連携体制に向けて関係構築を図るため、多職種向け研修会を充実した。ACP普及のために意思決定を考えられるよう市役所と一緒に「市民公開講座」を実施。また、「サロン向けACP講座」を開催するにあたり協力登録医師は6名。拠点コーディネーターや看護師ほか専門職も講師になり普及啓発に努めている。越谷市地域医療課も協力し各地区の地域包括支援センターや社協にも周知し講座を実施。また、他関係者にもチラシを配布し周知を行った。「越谷市入退院支援ルール」や「通院・入院時あんしんセット」の普及啓発は継続して務めている。同職種連携を深めるために「越谷市ナースの会」を年に3回開催。
	吉川松伏医師会	<ul style="list-style-type: none"> ・吉川松伏在宅医療サポートセンターを核に、在宅療養に関わる普及啓発業務、多職種間や在宅医療への理解を促進するため、各専門職の技術向上や多職種の連携につながる研修の開催などを計画し実施した。 ・SNSのメディカルケアステーションを活用、広報通信誌発行、各種専門研修会の開催、多職種の緩和ケア委員会を開催し関係機関の連携の推進を行った。 	
	草加八潮医師会	多職種の交流・研修会などを通じて医療と介護の連携を強化している。ACPに関しては、埼玉県補助事業を利用し普及を図るとともに、草加市の出前講座を実施した。	
	三郷市医師会	在宅医療・介護連携サポートセンターによる関係機関との調整。	
	東埼玉 歯科医師会	・吉川松伏多職種連携の会に参加し連携を図った。	
	春日部市 薬剤師会	「春日部市医療介護職連携研修・交流会」、地域ケア会議に参加し多職種、行政との連携強化に務める	
	春日部市	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の医療・介護関係者が参画する「春日部市在宅サービス多職種連絡協議会」を開催した。計10回 257人 ・「春日部市在宅サービス多職種連絡協議会」の部会として、「春日部市在宅緩和ケア地域連携推進会議」を開催した。計2回 51人 ・保健センターが開催した健康フェア(12月8日)に参加し、市民への普及啓発を実施。自宅で行きいきと暮らす講座「脳卒中とACP～最期まで自分らしく生きるために～」28人 ・血圧・筋力・体脂肪計測、医療介護相談 100人 	

第8次計画埼玉県地域保健医療計画 東部保健医療圏 圏域別取組 R6年度実績(5)

圏域別取組	在宅医療の推進
目標	地域住民が疾病を抱えても、最期まで住み慣れた環境で自分らしい生活を続けられるよう地域包括ケアシステムを構築するために、在宅医療の充実と在宅介護との連携の推進を図ります。
主な取組	<ul style="list-style-type: none"> ■在宅医療・介護の連携の推進 ■在宅医療連携拠点の充実 ■在宅医療・介護関係者の情報共有、相談体制の支援 ■関係機関の連携の推進
実施主体	市町、保健所、地域包括支援センター、医師会、歯科医師会、薬剤師会、医療機関、薬局、訪問看護ステーション、介護施設 等

主な取組	実施主体	R6
	草加市	草加市在宅医療・介護連携推進協議会を設置し、3回会議を開催した。 (第1回：R6.7.30、第2回R6.10.31、第3回：R7.2.7)
	越谷市	<ul style="list-style-type: none"> ・医療関係者、介護関係者、学識経験者等16名で構成された「越谷市地域包括ケア推進協議会」を2回開催し、在宅医療・介護連携推進や、認知症施策の推進について審議した。(実施日：8月6日、2月14日) ・多職種が参加する研修会を9回開催し、484人が参加した。
	八潮市	医療関係者、介護関係者等9人を構成員とする、在宅医療・介護連携推進会議を3回開催した。
	三郷市	<ul style="list-style-type: none"> ・三郷市在宅医療介護連携推進協議会を年3回開催。(主体：市) ・多職種研修会を年1回開催。(主体：市)
	吉川市	吉川松伏多職種連携の会を2回開催、医療・介護職向け研修として講演会を1回実施。
	松伏町	<ul style="list-style-type: none"> ・吉川・松伏在宅医療サポートセンターと連携 ・在宅医療や介護の連携の場として「吉川・松伏多職種連携の会」の運営 ・高齢者の保険事業と介護予防の一体的な実施
	草加保健所	「草加市在宅医療・介護連携推進協議会」、「八潮市在宅医療・介護連携推進会議」及び「吉川・松伏多職種連携の会」に定期的に出席し、情報提供等を行った。